

建築積算システム 簡易マニュアル



MOOBIUS R
Cost Estimation System for Public Building Works
公共建築積算システム

目次

1 建築工事について.....	2
2 積算システムの起動.....	5
3 新規工事作成.....	5
・ PDF/XLS 設計書取り込み手順.....	5
4 工事区分の設定・変更.....	11
5 積算データ入力.....	12
・ 行を挿入したい場合.....	15
・ 目的の歩掛を検索する方法.....	16
・ 手入力歩掛りの入力方法.....	18
・ 目的の単価を検索する方法.....	20
・ 手入力単価の入力方法.....	21
・ 「おまかせ積算」を実行して積算するには.....	23
6 共通費計算.....	27
7 積算書印刷.....	34
8 工事選択画面説明.....	35
・ 工事選択に表示されるアイコン説明.....	35
・ 「武蔵」や「デキスパート」等のシステムとのデータ連携方法.....	35
・ 工事を検索（絞り込む）方法.....	36

1 建築工事について

- ★ 公共建築積算の工事費は直接工事費、共通費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費等）及び、消費税等相当額に区分され、各々について積算を行います。積算の流れは下記の通りです。

1. 工事情報入力

工事名や工事情報・階層パターンを入力設定し、経費工種より該当する工事区分を選択します。ここで選んだ区分がベースとなる経費工種となり、内訳書の工事区分、作業区分、工事分割区分の初期設定に反映されます。

2. 積算データ入力

公共建築の積算入力は作成する設計書の内訳構成により階層パターンを選択する必要があります。

「工事内訳」→「種目別内訳」→「科目別内訳」→「中科目別内訳」→「細目別内訳」→「代価表・別紙明細表」という内訳構成から、設定した階層パターンで工事ごとに積算入力し、施工単価・市場単価・歩掛から必要な工事を選択し、工事ごとに積み上げて工事費を算出します。

3. 共通費計算

公共建築では「共通仮設費」「現場管理費」「一般管理費」ごとに金額を算出します。

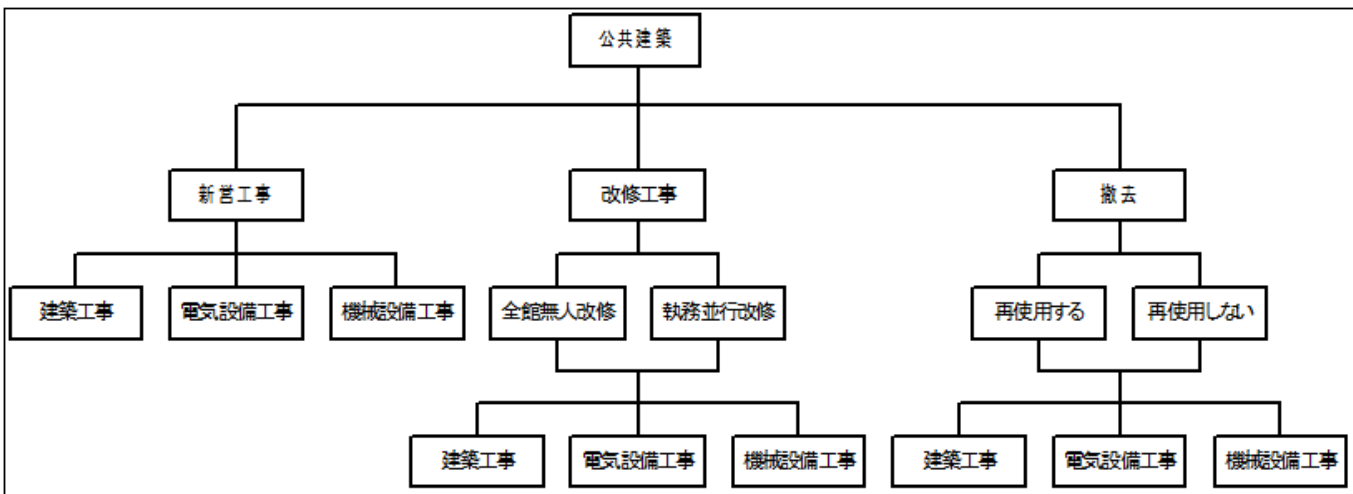
【工事種別】：建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事、屋外整備工事（公共住宅建築積算の場合）等の各工事によって経費率が異なる為、積算する工事種別ごとに金額を算出します。

4. 積算書印刷

積算書を様々な内訳書式より、工事内訳別に印刷する事が出来ます。

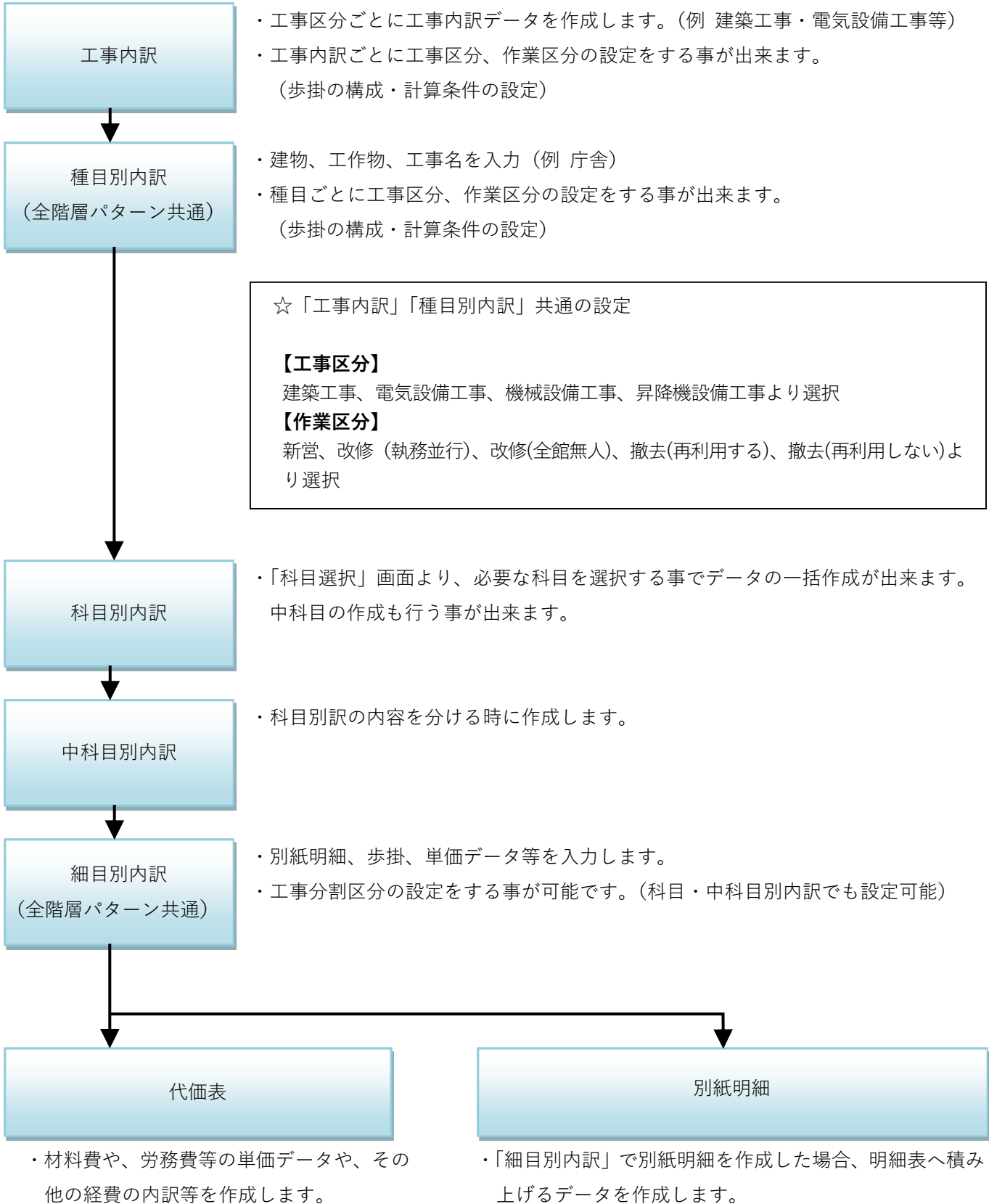
工事データをPDF・CSV・TXT・EXCEL・XLS1シート形式で出力する事が可能です。

- ★ 工事費の積算は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事、屋外整備工事（公共住宅建築積算の場合）等の工事種別ごとに行います。公共建築積算の場合の構成図を下記しますので参考にして下さい。



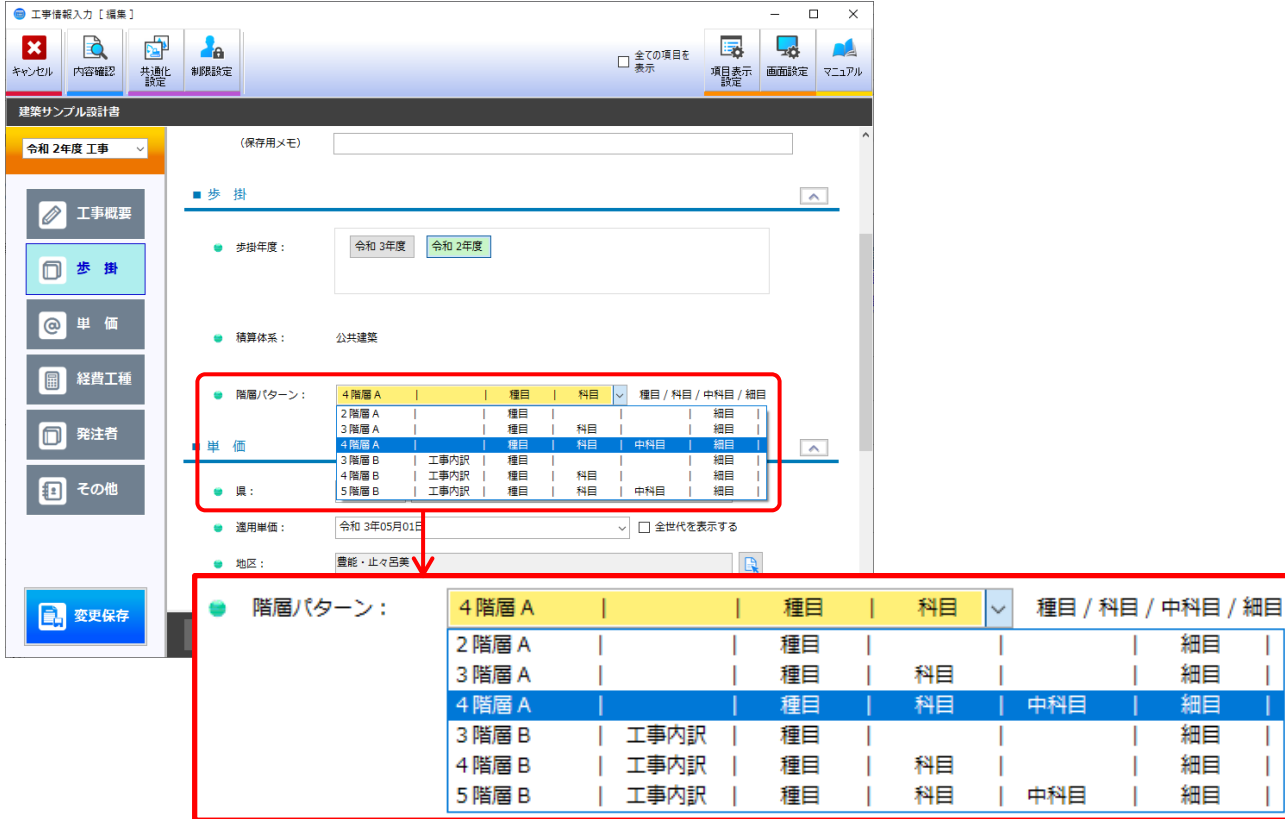
<内訳構成の説明>

「工事情報入力」画面で設定する階層パターンによって内訳構成が異なりますので、作成する設計書の内訳階層を確認して下さい。



<設計書の内訳構成によって様々な階層パターンを設定出来ます>

「工事情報入力」画面より「種目別内訳」「細目別内訳」を基準に様々な階層パターンから、該当する階層構成を選択する事で幅広い書式にあった設計書作成が可能です。設計書取込機能より取り込んだ場合は自動で設定されます。



階層パターン名	階層 構成				
	1) 工事内訳	2) 種目別内訳	3) 科目別内訳	4) 中科目別内訳	5) 細目別内訳
2階層 Aパターン	×	○	×	×	○
3階層 Aパターン	×	○	○	×	○
4階層 Aパターン	×	○	○	○	○
3階層 Bパターン	○	○	×	×	○
4階層 Bパターン	○	○	○	×	○
5階層 Bパターン	○	○	○	○	○

2 積算システムの起動

① デスクトップ画面より【積算システムメビウス R】を起動して下さい。



【ユーザー情報登録】
複数ライセンスをご利用の場合は。ユーザー情報を登録してご利用して下さい。

【お知らせ機能】
吉備システムからのバージョンアップや単価更新等をお知らせ致します。

【終了】
積算システムメビウス Rを終了します。

3 新規工事作成

◆ PDF/XLS 設計書取り込み手順

ここでは PDF 設計書を取り込んだ際の工事作成手順を説明します。

注1 設計書の取り込みを行う場合は、必ずインターネットが繋がっている状態で行って下さい。

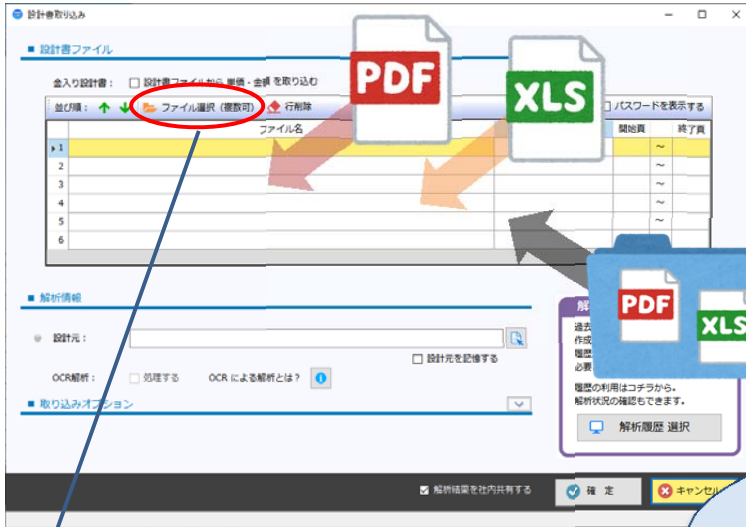
インターネットが繋がっていない場合は設計書の取り込みは出来ません。

注2 設計書取り込みから工事を作成し、データ入力する場合は「Adobe PDF Reader」が必要となります。



① 取り込みを行う設計書を【PDF/XLS 取り込み】アイコンへドラッグ&ドロップして下さい。
(⇒手順④へ)
又は【PDF/XLS 取り込み】アイコンをクリックして下さい。(⇒手順②へ)



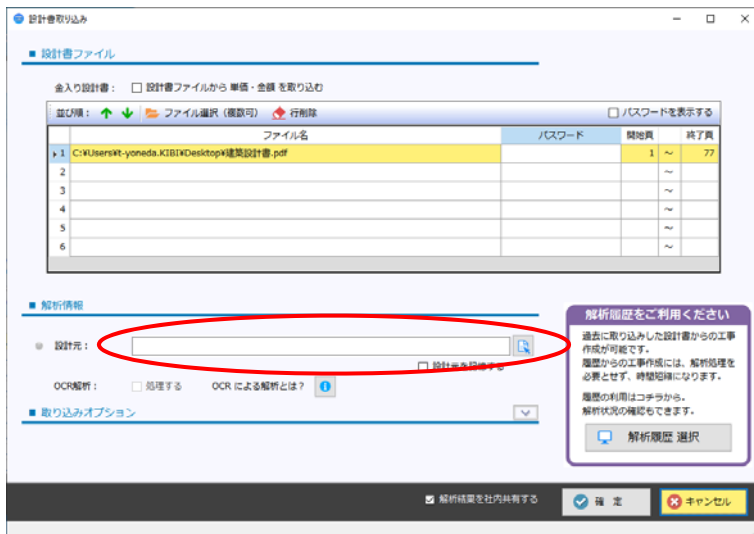


ファイル選択から、設計書の保存場所を選択して登録する事も可能です。

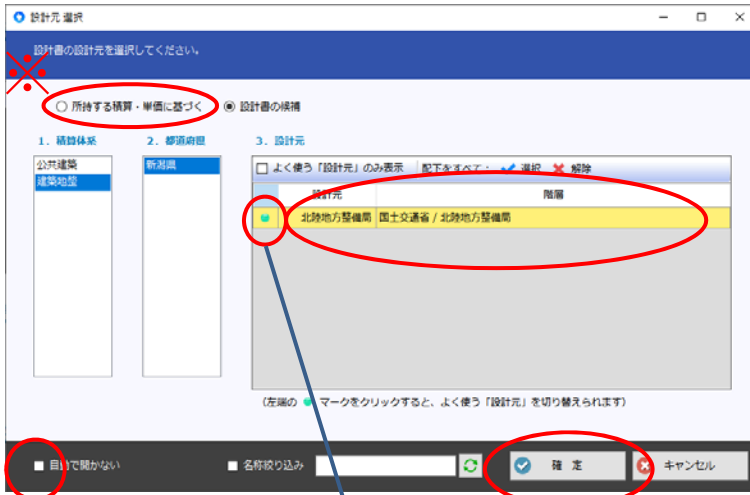
<アイコンをクリックした場合>

- ② 「設計書取り込み」画面が表示されます
取り込みを行う設計書をマウスのドラッグ&ドロップで登録して下さい。(PDF や EXCEL のファイル形式に関係なく同時に処理する事も可能です。)

複数のファイルを同時に、また設計書の入ったフォルダごと纏めて登録することも可能です。



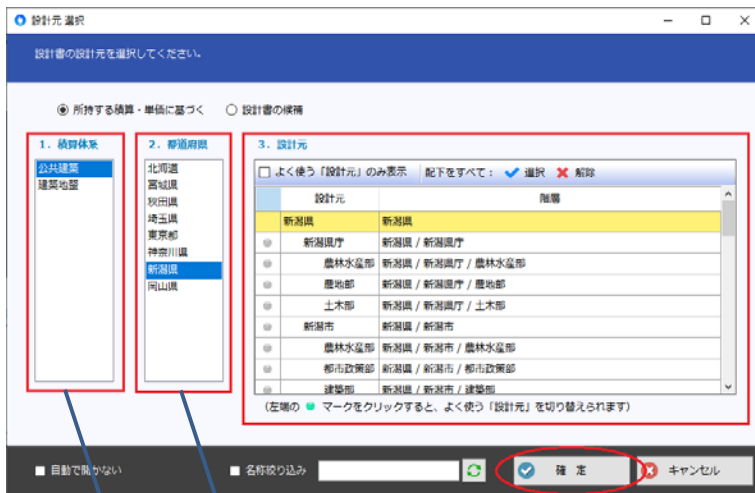
- ③ 次に**設計元**を選択します。
枠又はアイコンをクリックして下さい。



- ④ 設計元の候補が表示されます。
 該当する設計元を選択し、**確定**をクリックして下さい。(⇒手順⑦へ)
- ※ 表示されている候補以外から選択する場合は「所持する積算・単価に基づく」に切り替えて下さい。(⇒手順⑤へ)

●をクリックするとよく使う設計元として登録ができます。

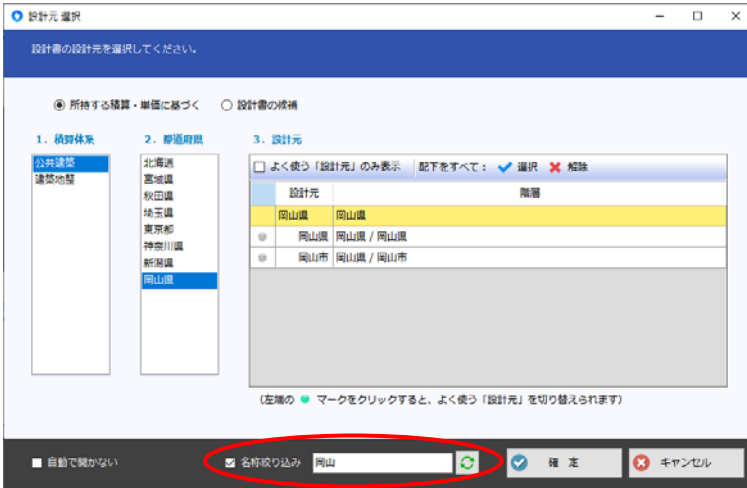
ドラッグ&ドロップで設計書を登録した際に、自動で表示するかしらないかの設定になります。自動で表示しない場合、手順③にて手動で表示して下さい。



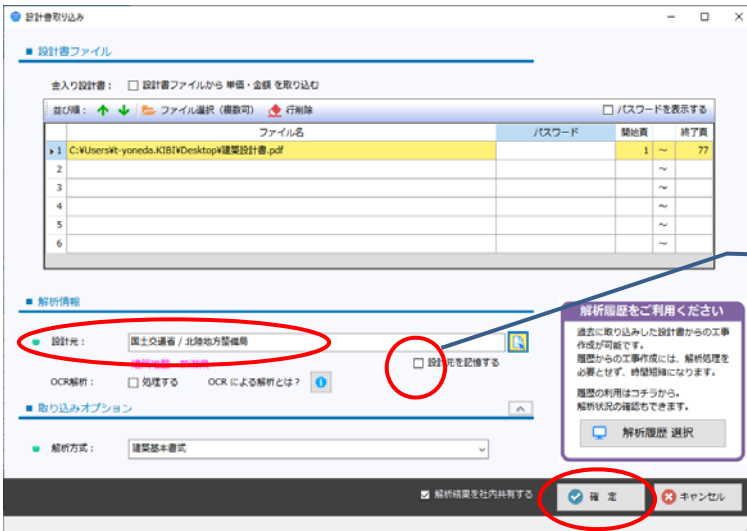
- <所持する積算・単価に基づいて設定する場合>
- ⑤ 「1. 積算体系今後」「2. 都道府県」「3. 設計元」を順に選択し、確定をクリックして下さい。

利用可能な県（単価ダウンロード済）が表示されます。

利用可能な積算体系（契約に基づく）が表示されます。



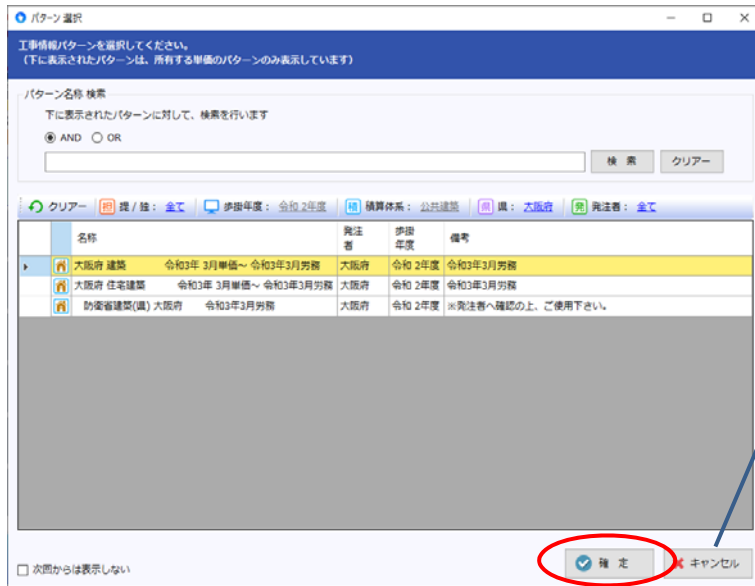
⑥ 設計元を検索したい場合は、名称を入力し、名称絞り込みに (チェック) を入れて下さい。



⑦ 選択した設計元が反映されます。
確定をクリックして下さい。解析が開始されます。

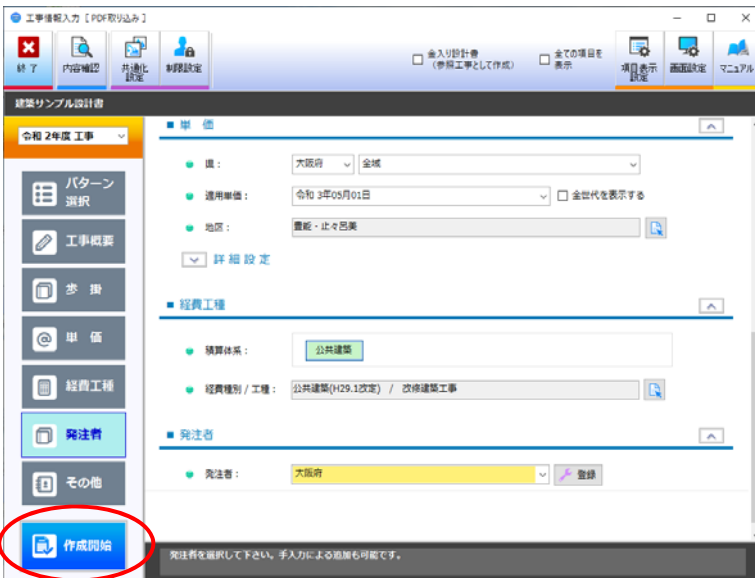
設計元を記憶すると次回取り込み時に、現在設定している設計元が自動的に選択 (表示) されます。





⑧ 工事情報パターンの選択画面が表示されます。該当パターンを選択し、**確定**をクリックして下さい。

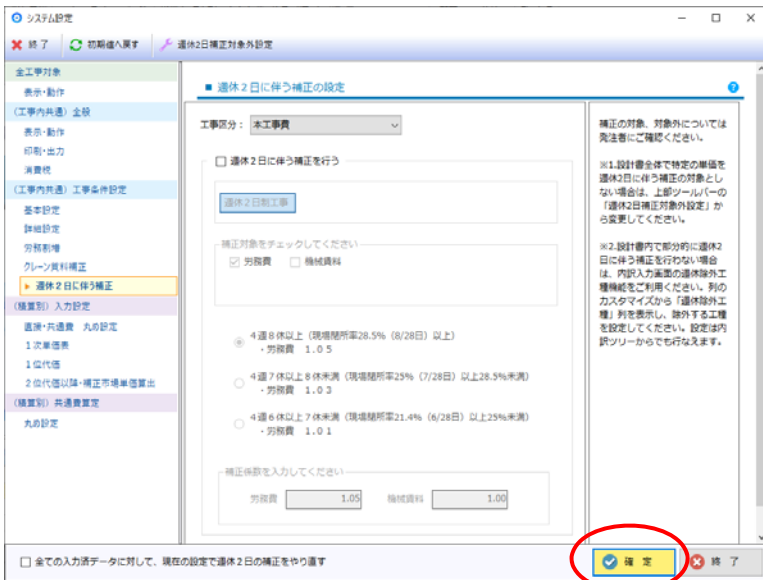
不明または該当項目が存在しない場合はキャンセルをクリックして下さい。



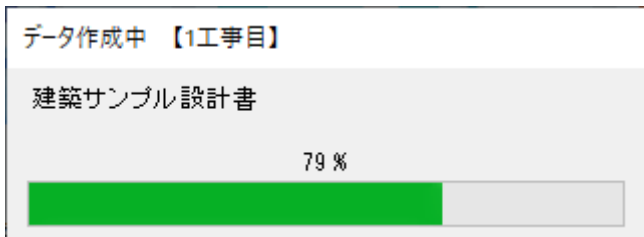
⑨ 設計書等から適用単価や地区、経費工種等を選択し、**作成開始**をクリックして下さい。



⑩ 「システム設定」画面が表示されますので**確定**をクリックして下さい。



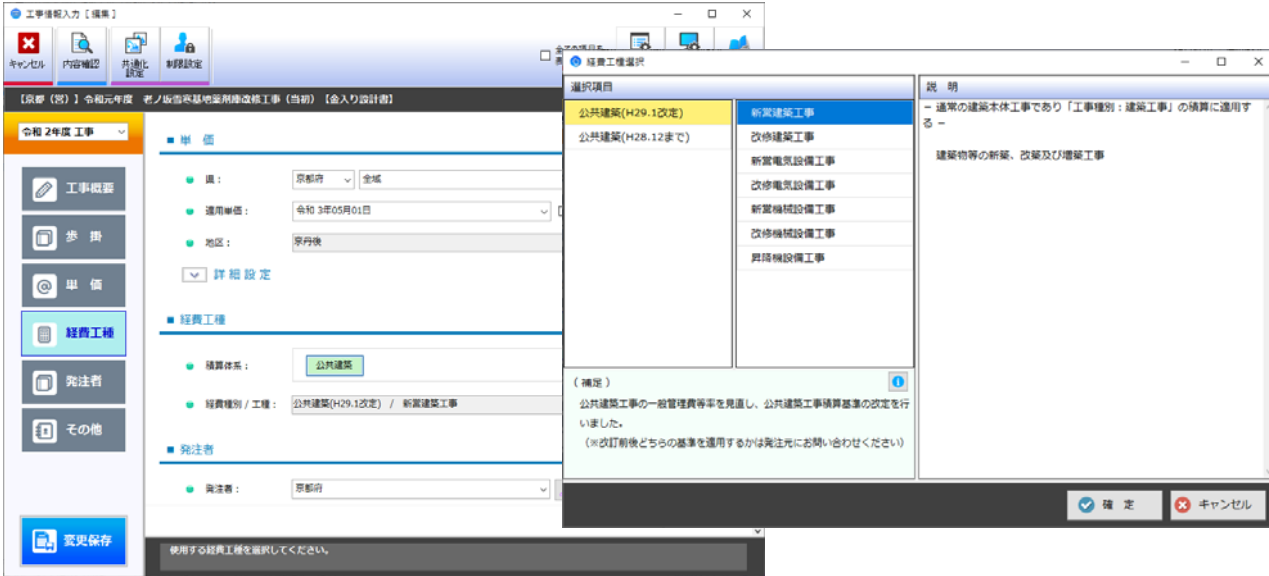
⑪ 週休2日補正設定画面が表示されます。週休2日の対象になっている工事の場合は、補正を行うに**☑**を入れ、各項目を設定し**確定**をクリックして下さい。



⑫ 工事データの作成が行われます。

4. 工事区分の設定・変更

設計書入力を始めるにあたり、取り込んだ設計書及び新規入力される場合、工事区分の設定をお願い致します。初期値は工事情報入力画面で設定した経費工種区分の工種が設定されます。



青字箇所をクリックすると各区分設定一覧が表示されます。該当区分を選択して下さい。

区分	付箋	費目	施工	工種名称	工事区分	工事分割区分	作業区分	数量	単位
1				薬割庫改修	建築工事	建築工事 新築工事	新築	1	式
2				薬割庫電気設備改修	建築工事	建築工事 新築工事	新築	1	式

選択

工事区分

建築工事

電気設備工事

機械設備工事

昇降機設備工事

選択

工事分割区分

新築工事

新築工事 鉄骨工事

改修工事

改修工事 鉄骨工事

リース料等

その他工事

発生材処分費

率対象外

選択

作業区分

新築

改修 (執務並行)

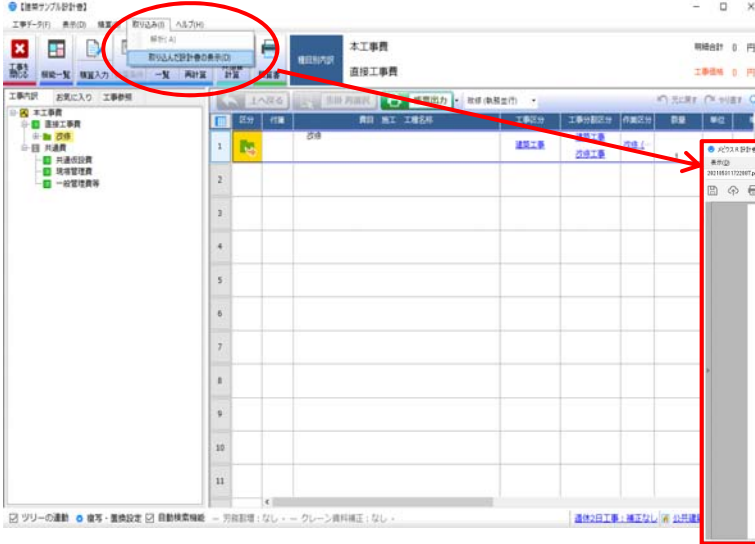
改修 (全館無人)

撤去 (再利用する)

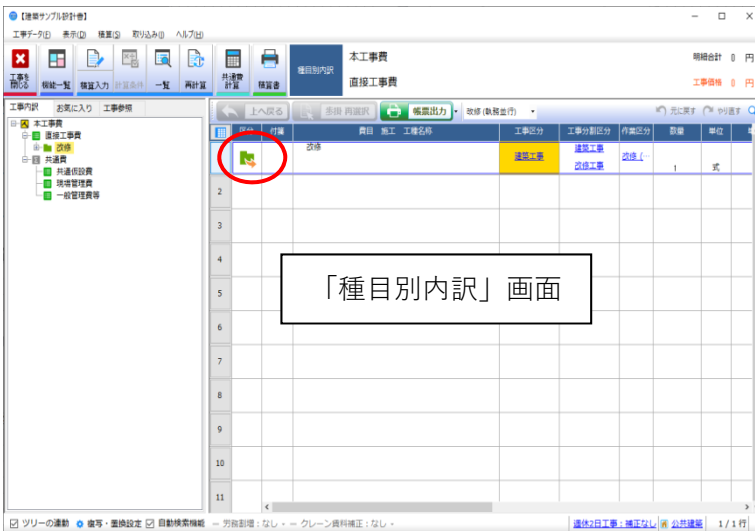
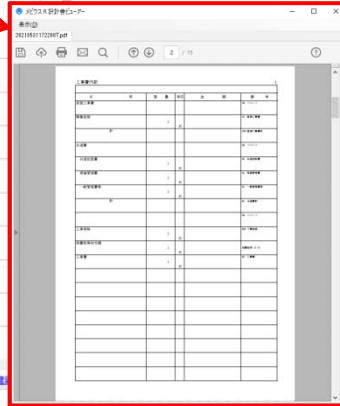
撤去 (再利用しない)

5 積算データ入力

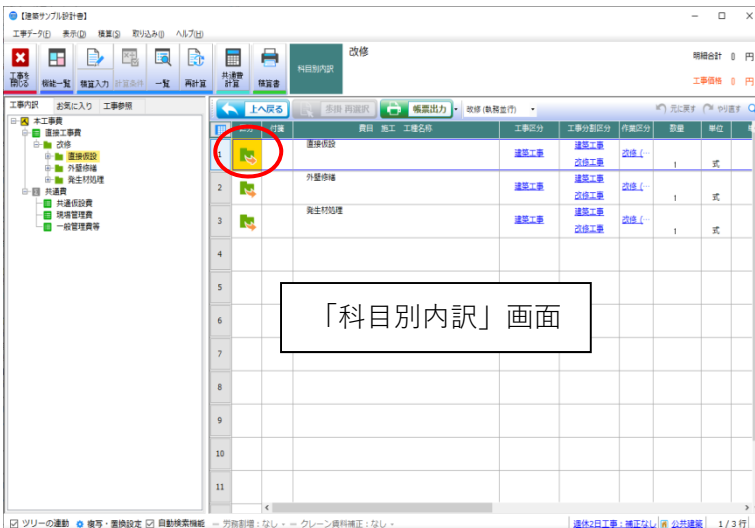
実際に積算データの入力を始めます。ここでは4階層Aのパターンで手順を説明します。
まず、設計書と入力行を照合しながらデータ入力を行う為、PDF設計書を表示します。



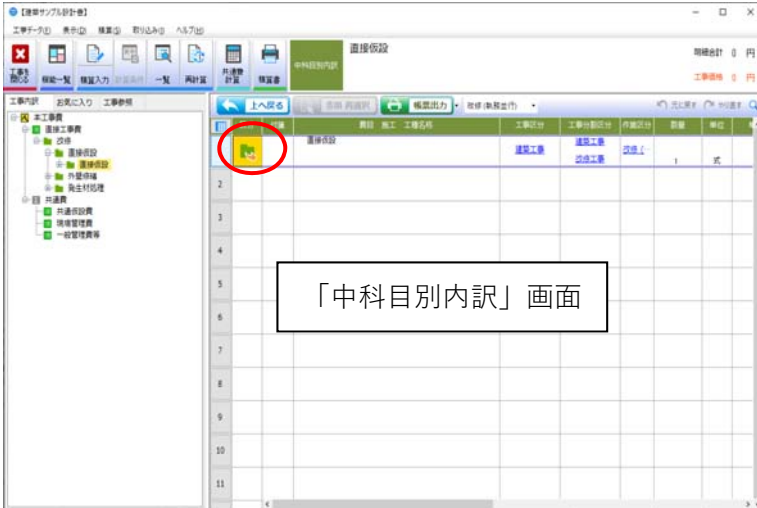
- ① **取り込み** > **取り込んだ設計書の表示** をクリックして下さい。



- ② 歩掛選択を行う為の下位の科目へ移動します。**区分欄**をダブルクリックし、科目別内訳へ移動して下さい。

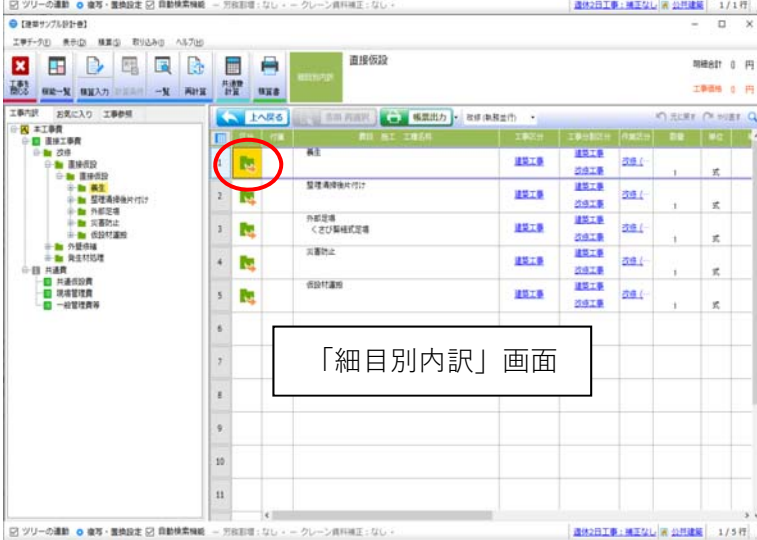


- ③ 「科目別内訳」画面が表示されます。**区分欄**をダブルクリックし、中科目別内訳へ移動して下さい。



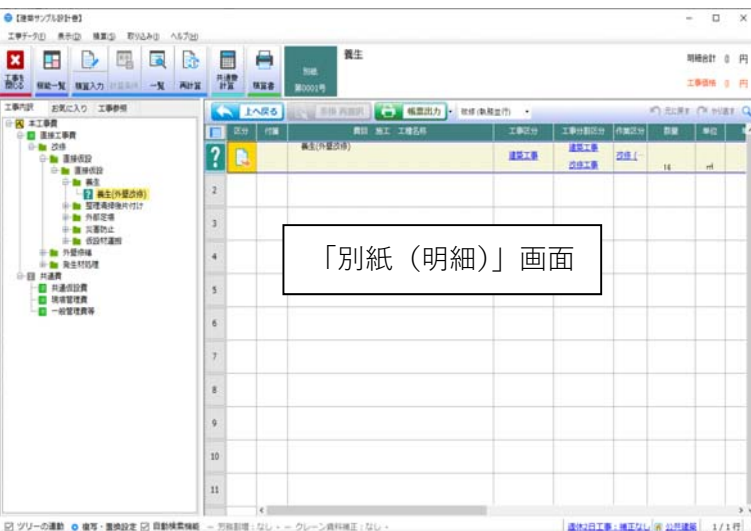
「中科目別内訳」画面

④ 「中科目別内訳」画面が表示されます。区分欄をダブルクリックし、細目別内訳へ移動して下さい。



「細目別内訳」画面

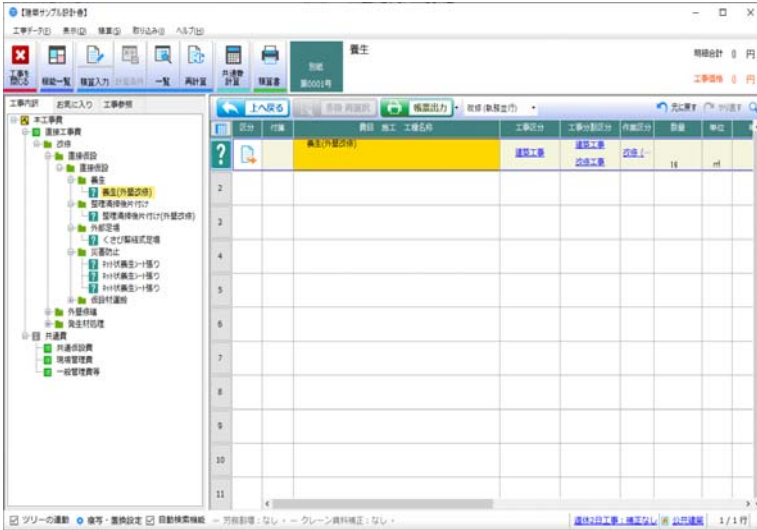
⑤ 「細目別内訳」画面が表示されます。区分欄をダブルクリックし、別紙へ移動して下さい。



「別紙(明細)」画面

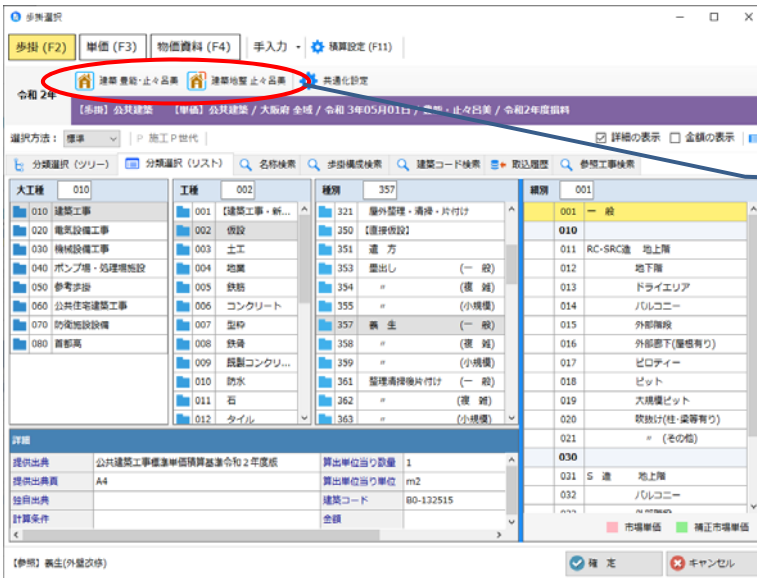
⑥ 「別紙(明細)」画面が表示されます。「？」が表示されている項目を入力していきます。

「？」を歩掛として入力したい場合は P14 へ、単価として入力したい場合は P19 を参照して下さい。



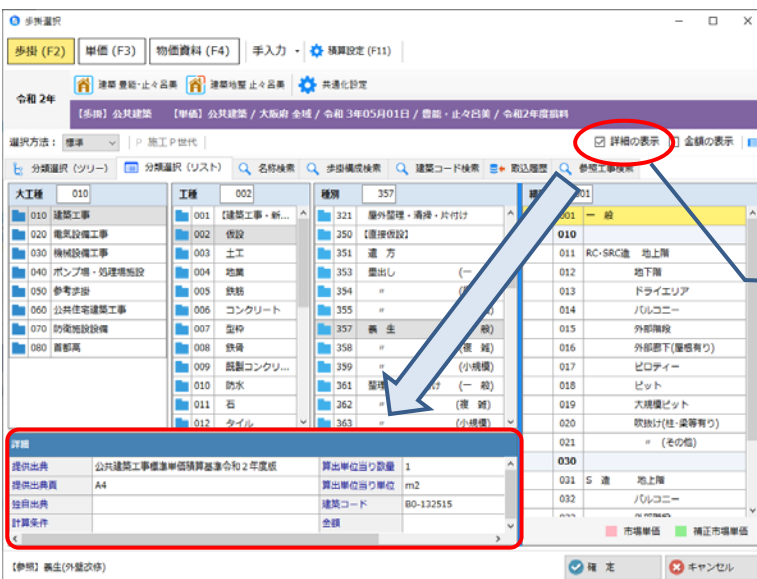
< 歩掛を選択する場合 >

- ⑦ 「？」をダブルクリックすると歩掛選択画面が表示されます。



◆ 「歩掛選択」画面

共通化設定している積算体系が表示されます。該当の積算体系をクリックすると、選択した積算体系の歩掛が表示されます。



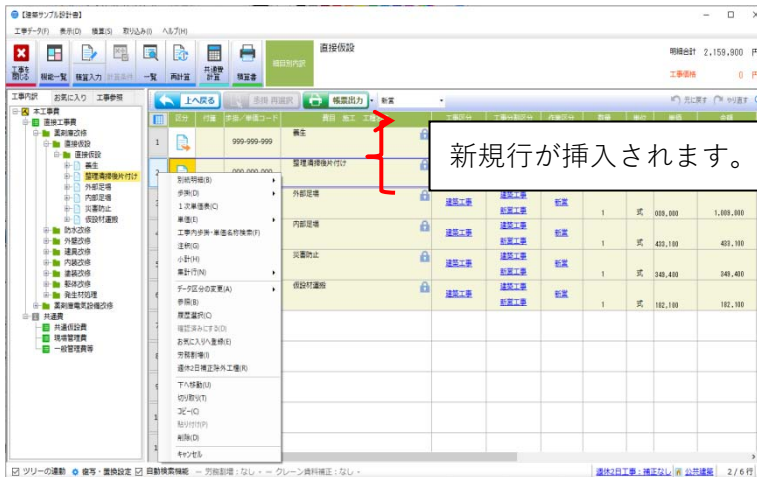
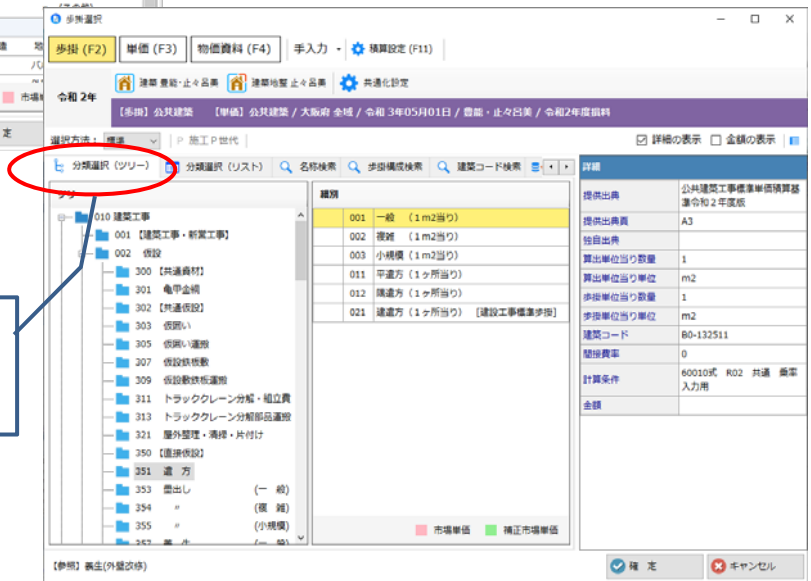
【詳細の表示】

…細別を選択した状態で出典根拠や出典根拠頁情報が表示されます。

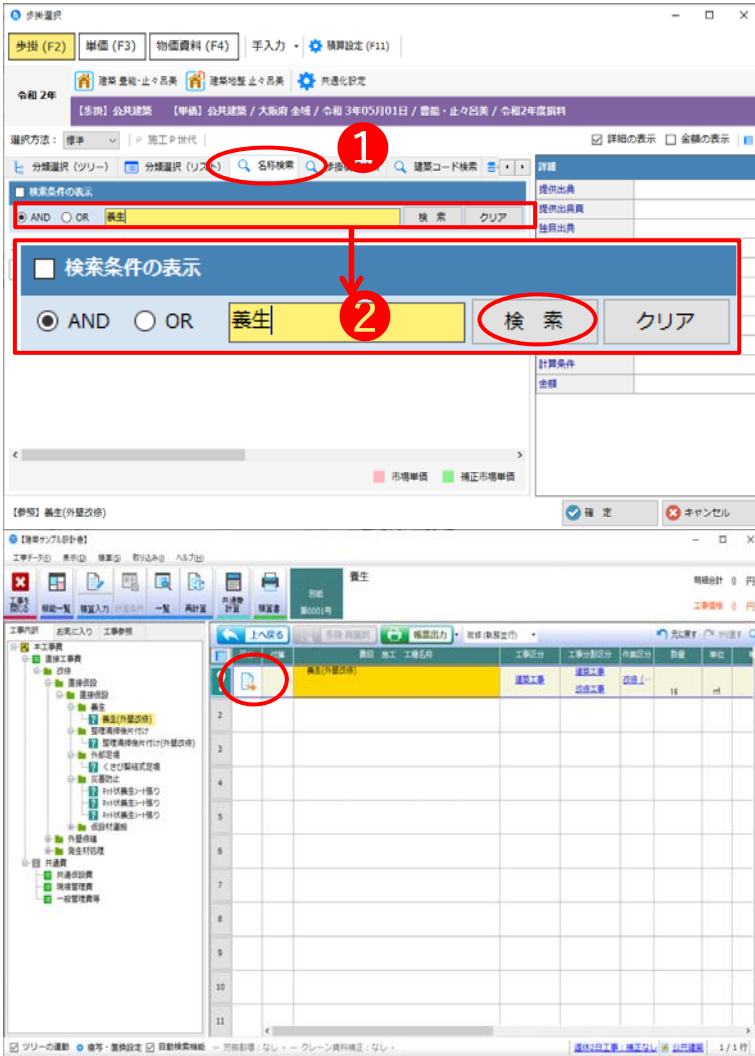


大工種 >> 工種 >> 種別 >> 細別
の順番で選択します。

【分類選択 (ツリー)】をクリックすると、歩掛選択画面がツリー画面で表示されます。

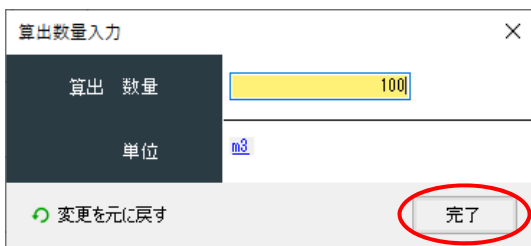


- ◆ 行を挿入したい場合
挿入したい場所の下の行を選択し、マウス右クリックし、一覧より別紙明細・歩掛・単価等、該当項目を選択して下さい。選択行の上部に挿入されます。

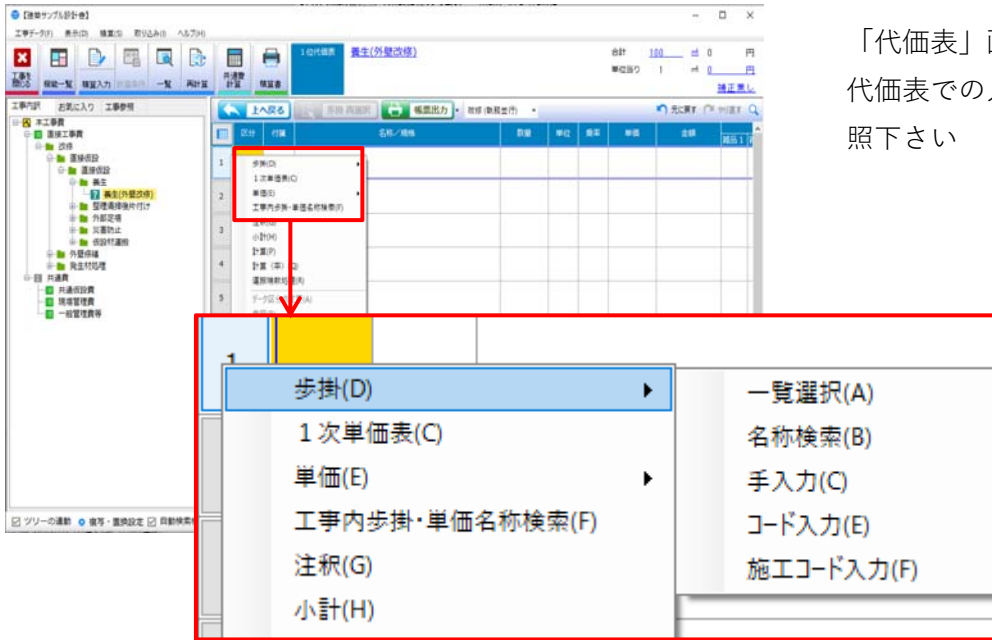


- ◆ 目的の歩掛を検索する方法
歩掛選択画面より**①名称検索**タブをクリックして下さい。
②検索名称を入力し、**検索**をクリックして下さい。
複数の検索名称で検索したい場合は、半角スペースを入力して下さい。
例 養生_シート
↑半角スペース

- ◆ 下位代価を手入力で作成する場合
区分欄をダブルクリックして下さい



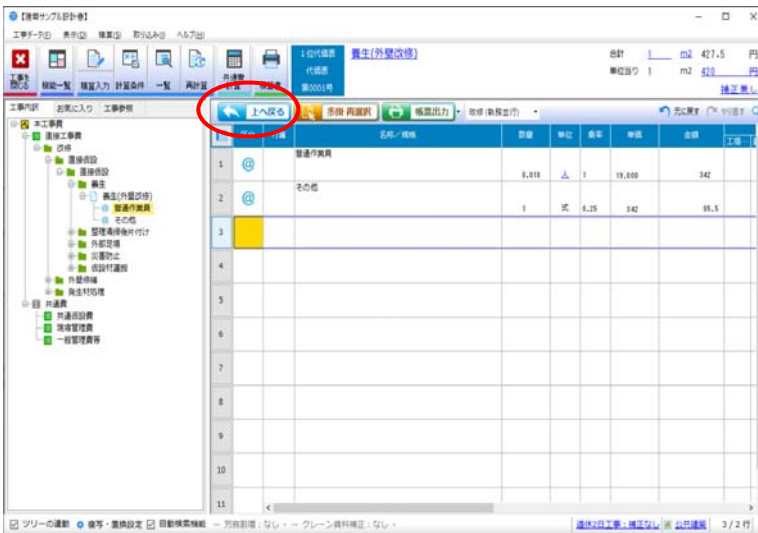
算出数量（合計数量）を入力し、**完了**をクリックして下さい。



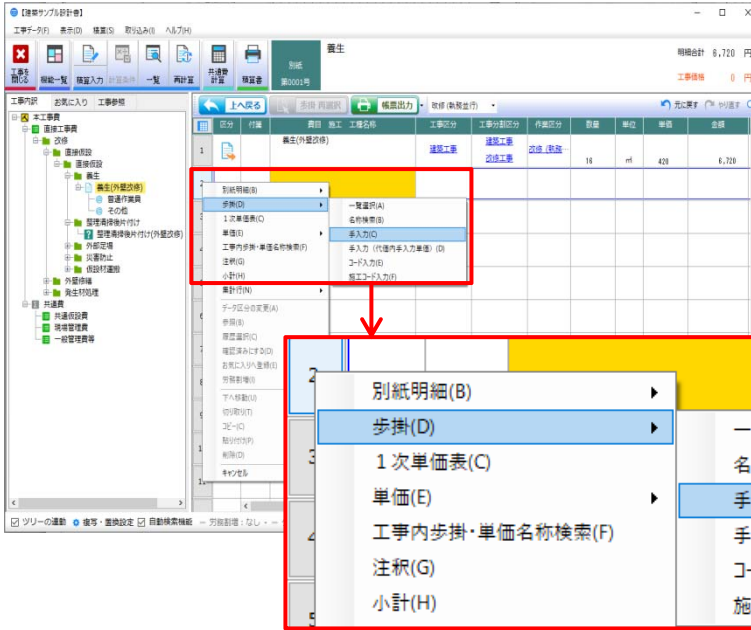
「代価表」画面が表示されます。
代価表での入力方法は下記の 1~4 の方法をご参照下さい

右クリック一覧メニューより

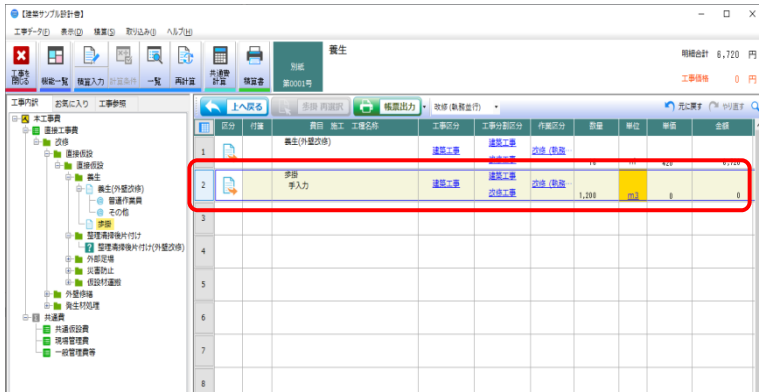
1. 歩掛選択画面から選択 >> 歩掛 → 一覧選択
2. 歩掛を手入力で入力 >> 歩掛 → 手入力
3. 単価選択画面から選択 >> 単価 → 一覧選択
4. 単価を手入力で入力 >> 単価 → 手入力



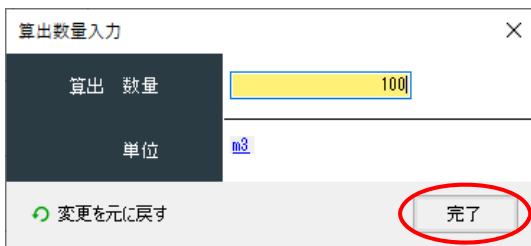
⑧ 選択（入寮）した歩掛りの代価画面が表示されましたら、内容確認後、上へ戻るをクリックして下さい。



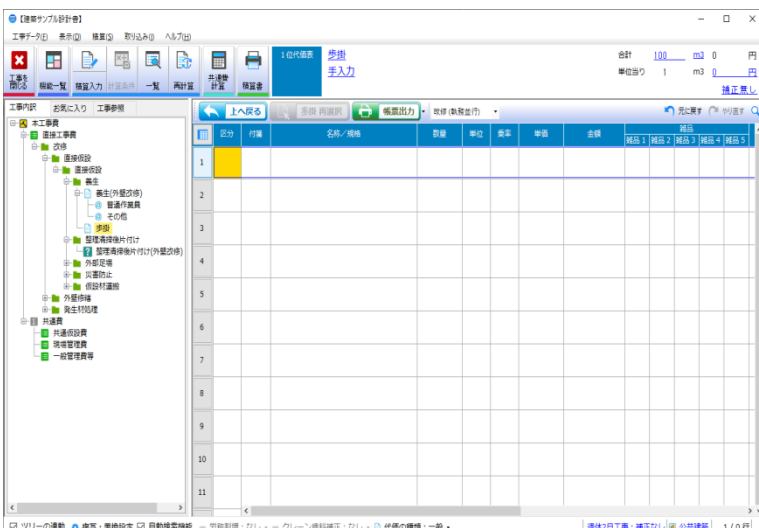
- ◆ 手入力歩掛りの入力方法
新規行、又は挿入したい行の下段でマウス右クリック >> 歩掛 >> 手入力を選択して下さい。



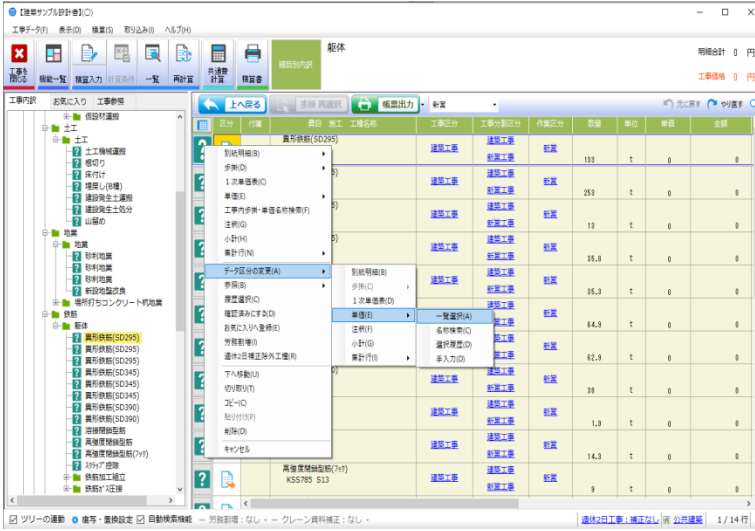
名称・数量・単位を入力して下さい。



算出数量（合計数量）を入力し、完了をクリックして下さい。

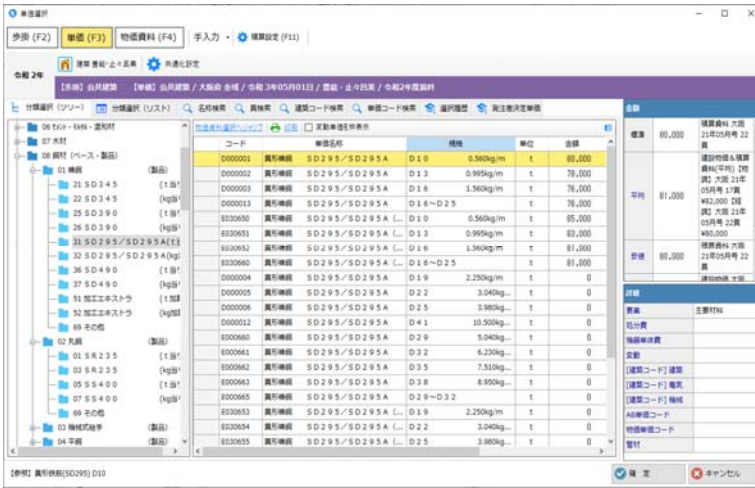


代価画面が表示されますので、歩掛・単価等を入力して下さい。

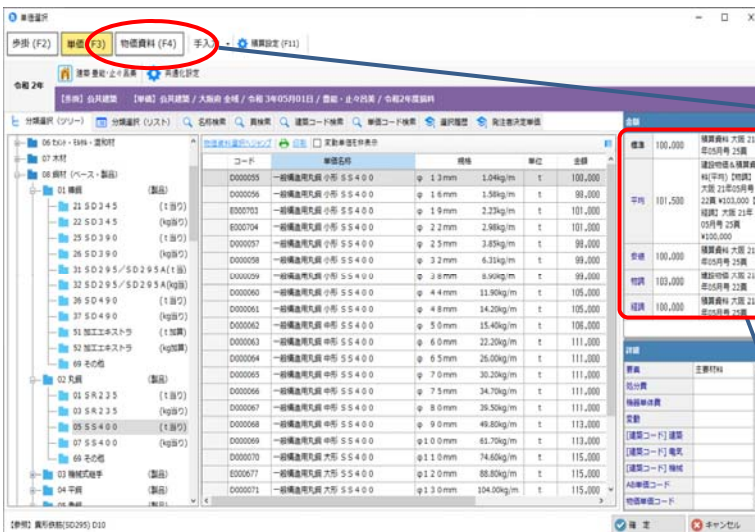


< 単価を選択する場合 >

⑨ 「？」行を単価として入力する場合、右クリック >> データ区分の変更 >> 単価 >> 一覧選択をクリックして下さい。



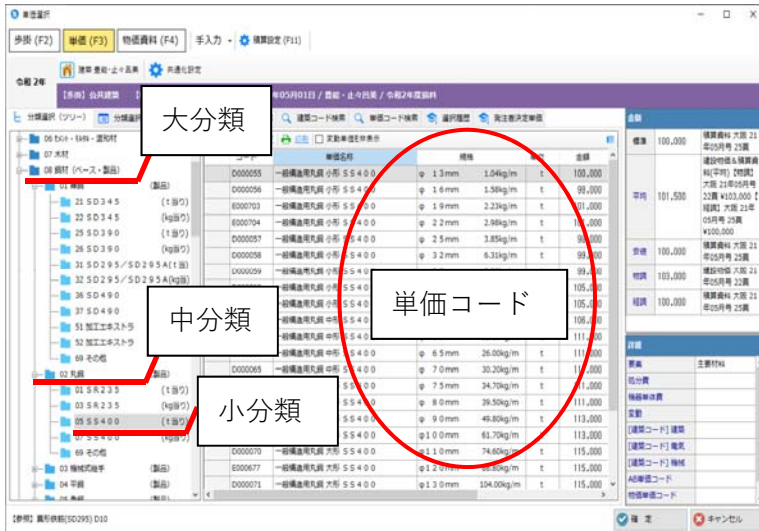
⑩ 該当単価を選択して下さい。



◆ 「単価選択」画面

物価資料（物調、経調）単価選択画面が表示されます。

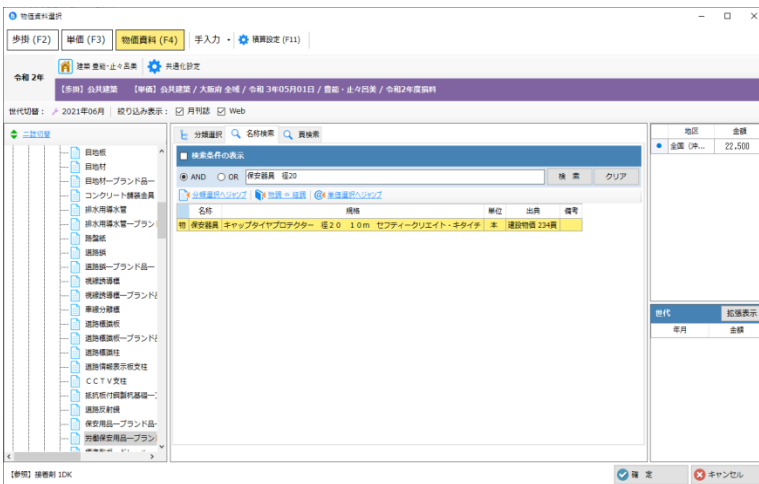
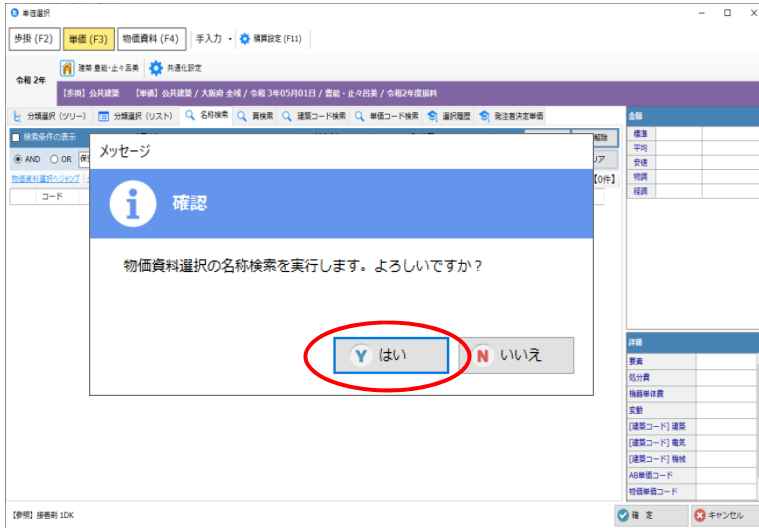
選択した単価の出典根拠、及び物調、経調単価の平均、安値の単価金額が確認出来ます。



大分類 >> 中分類 >> 小分類 >> 単価コードの順番で選択します。



- ◆ 目的の単価を検索する方法
単価選択画面より①名称検索タブをクリックして下さい。
②検索名称を入力し、検索をクリックして下さい。
複数の検索名称で検索したい場合は、半角スペースを入力して下さい。
例 異形鉄筋 SD295
↑半角スペース

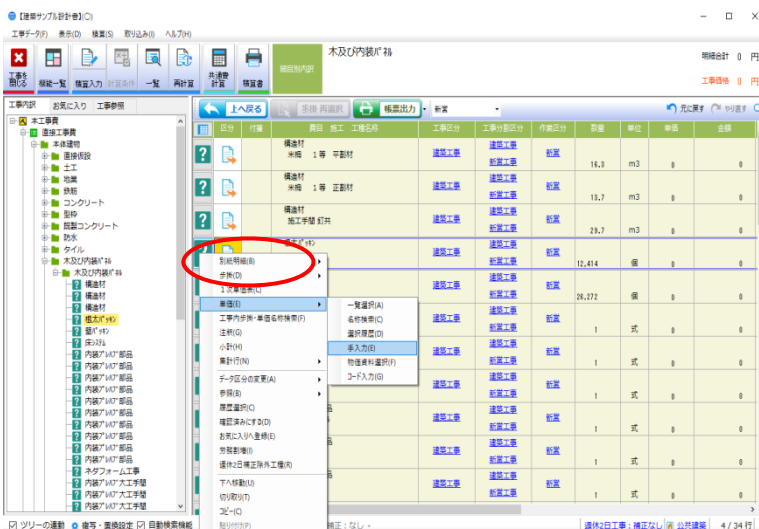


名称検索で該当する名称単価が存在しない場合、物価資料データから名称検索を行うかの確認画面が表示されます。

物価資料データから検索を引き続き行う場合は **はい** をクリックして下さい。

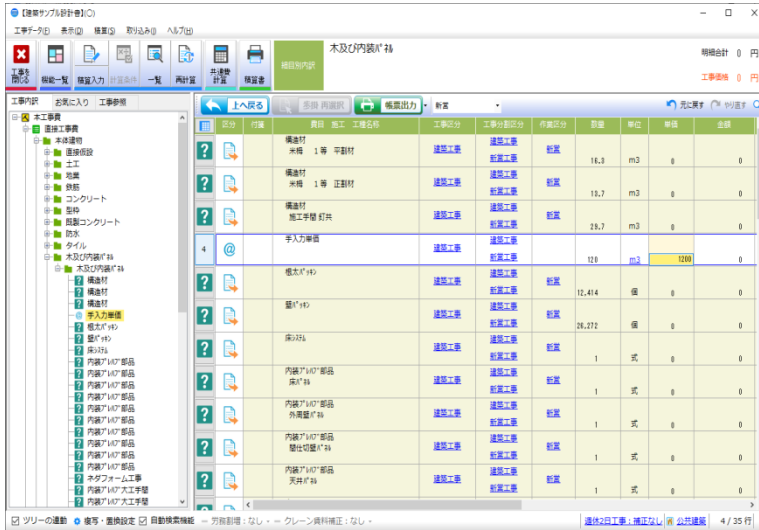
物価資料データに存在する場合は、該当単価が表示されます。

ダブルクリックで選択して下さい。

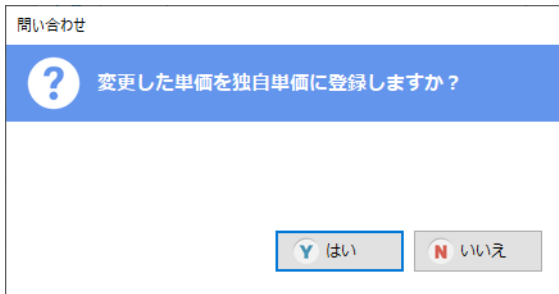


◆ 手入力単価の入力方法

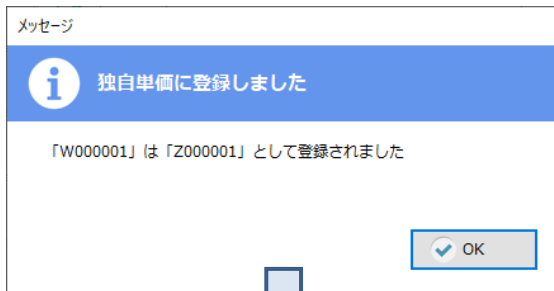
- ① 新規行、又は挿入したい行の下段でマウス右クリック >> 単価 >> 手入力を選択して下さい。



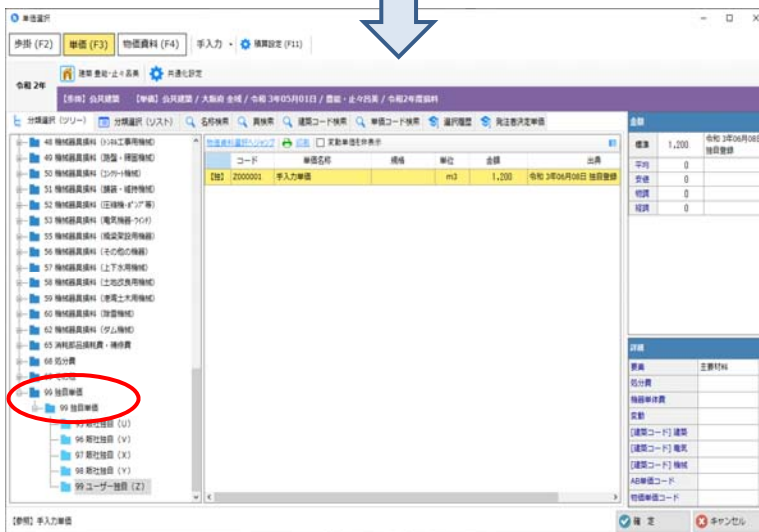
② 単価名称、数量、単位、単価を入力して下さい。



③ 手入力した単価を独自単価として登録するかの確認画面が表示されます。



④ 独自単価として登録した場合、登録完了画面が表示されます。

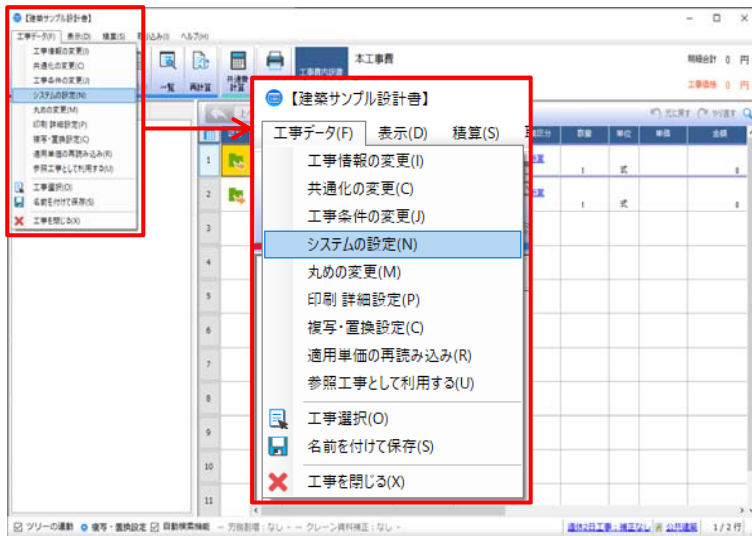


⑤ 単価選択画面の
99 独自単価 >> 99 独自単価 >>
99 ユーザー独自 (Z)
内に登録されます。

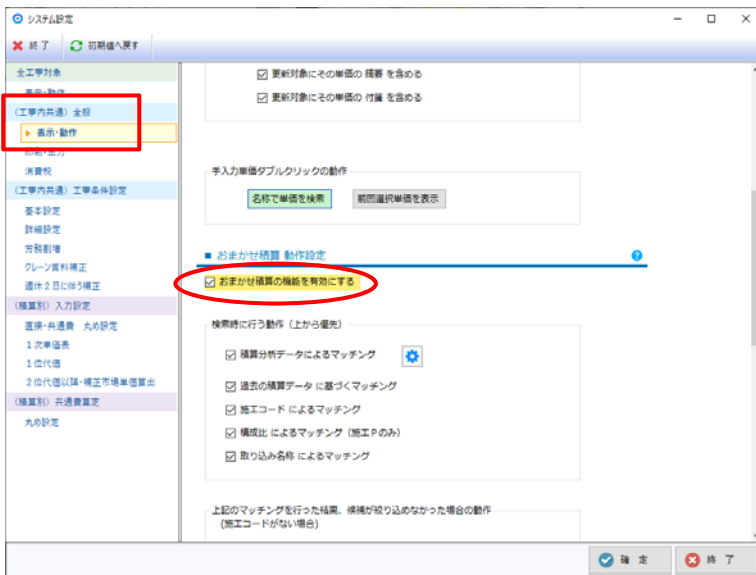
➤ 「おまかせ積算」を実行して積算するには

【おまかせ積算】とは？

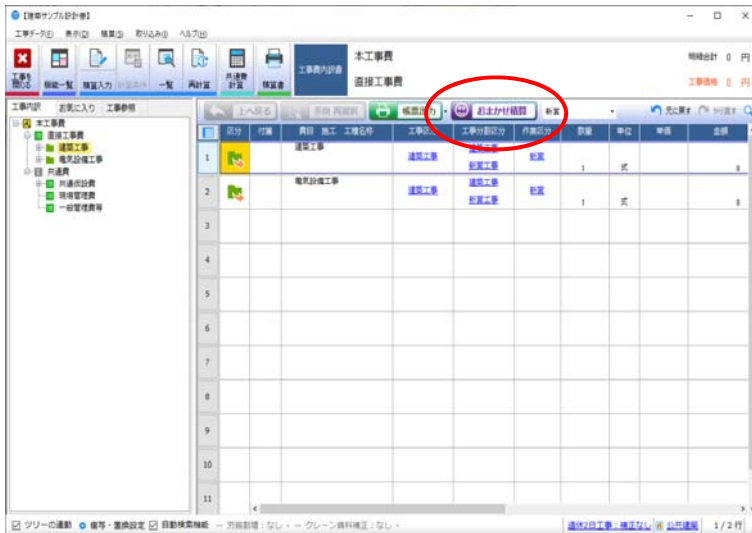
設計書から取り込んだ未確定代価の名称や過去履歴など様々な条件を手掛かりに、あらかじめ設定した条件に基づき、お客様の過去履歴やその他の検証分析データを利用し、該当の歩掛を照合・特定して連続置き換える機能です。



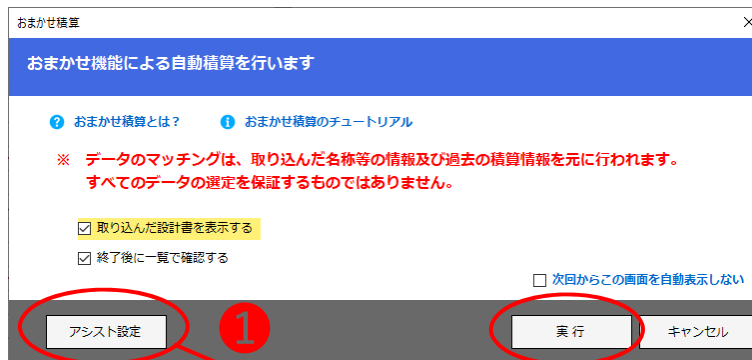
① 「工事内訳」画面より工事データ>>システムの設定をクリックして下さい。



② 「システム設定」画面が表示されます。
(工事内共通) 全般>>表示・動作 内にあるおまかせ積算 動作設定>>おまかせ積算の機能を有効にするにチェックを入れて下さい。

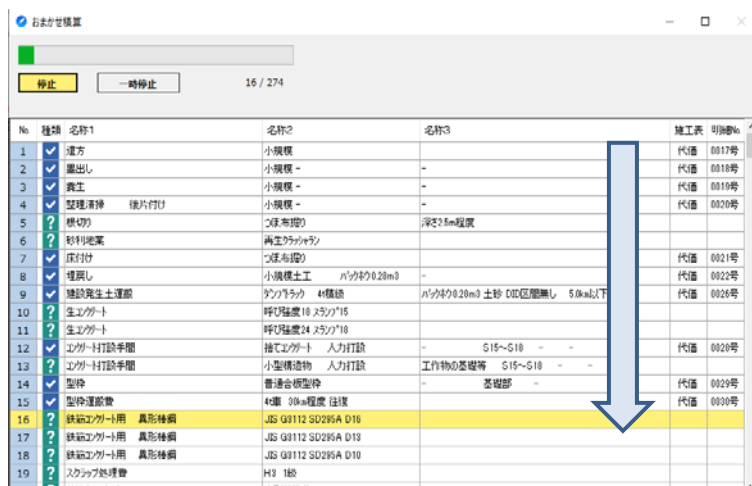


- ③ **おまかせ積算** ボタンが表示されます。
おまかせ積算をクリックして下さい。

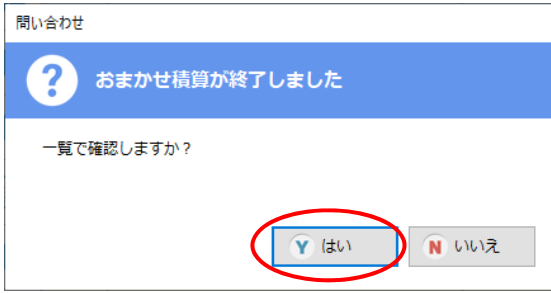


- ④ 「おまかせ積算」画面が表示されますので、**実行**をクリックして下さい

おまかせ積算の設定内容は**①アシスト設定**から確認出来ます。



- ⑤ おまかせ積算処理が開始されます。



⑥ おまかせ積算で処理されたデータの確認画面を表示します。**はい**をクリックして下さい。

① 種類

✓ (確認)・・・分析データや名称マッチングにて歩掛及び条件がセットされた状態です。

! (アシスト)・・・歩掛は選択されていますが、条件 (一部を含む) や単価選択項目が未設定の状態です。

?・・・おまかせ積算で該当データが見つからなかった状態です。

選択行と設計書が連動して表示されます。

② 代価構成内容になります。

③ 実際に設定されている条件値になります。

④ 注意！ 必ず確認、又はアシストをクリックし、選択された条件や代価内容を確認して下さい。

おまかせ積算 - 確認 -

No	種類	説明	名称1
1			遣方
2			遣方
3			遣方
4			墨出し
5			墨出し
6			墨出し
7	確認	おまかせ積算(分析...	養生
8	確認	おまかせ積算(分析...	養生
9	確認	おまかせ積算(分析...	養生
10	確認	おまかせ積算(取込...	整理清掃 後片付け

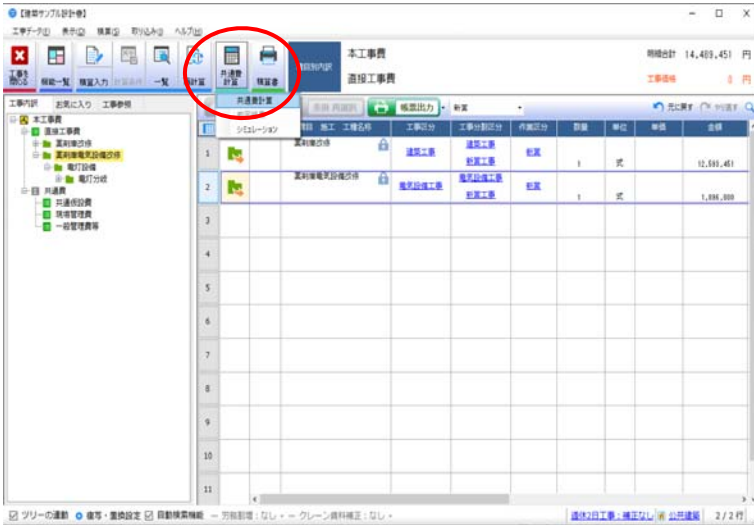
⑦ **確認**をクリックすると、種類が☑→ファイルアイコンへ変更されます。

⑧ 全ての項目を確認し、**閉じる**をクリックして下さい。

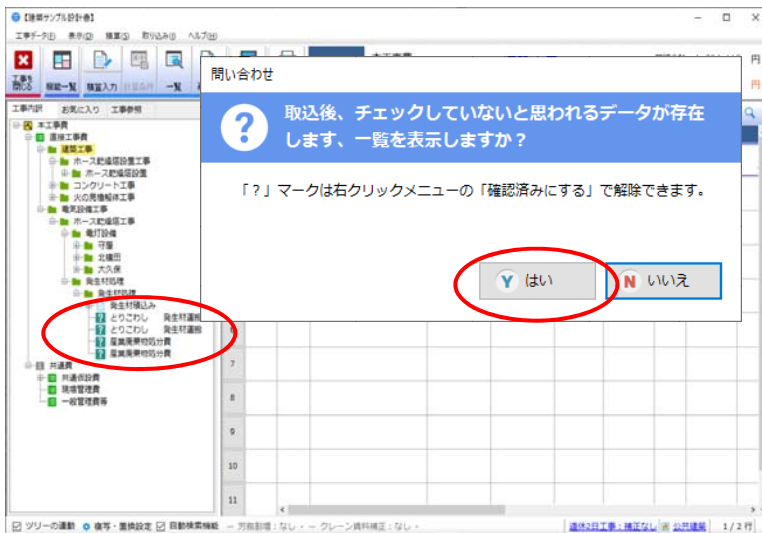
⑨ おまかせ積算で処理されなかった未設定項目の入力をして下さい。

6 共通費計算

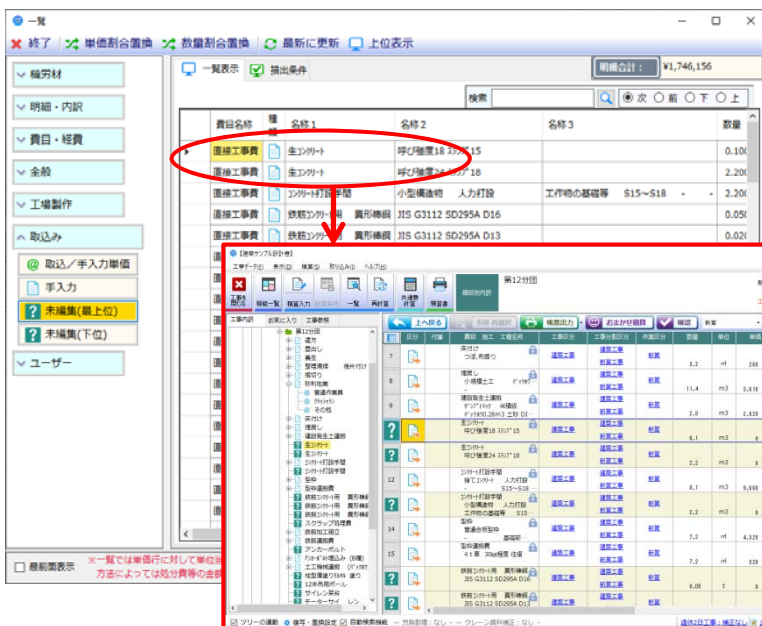
全ての積算データの入力完了したら、共通費計算を行います。



- ① 「工事内訳」画面の**共通費計算**をクリックし、一覧より**共通費計算**をクリックして下さい。



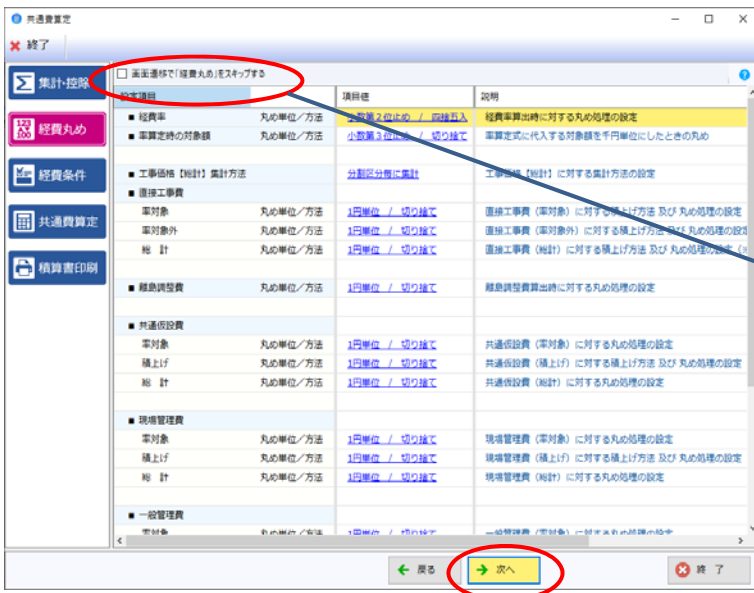
- ② 積算データ内に「?(未編集)」(設計書取込後、入力していないと思われるデータ)が存在する場合、確認画面が表示されます。必ず確認をお願い致します。



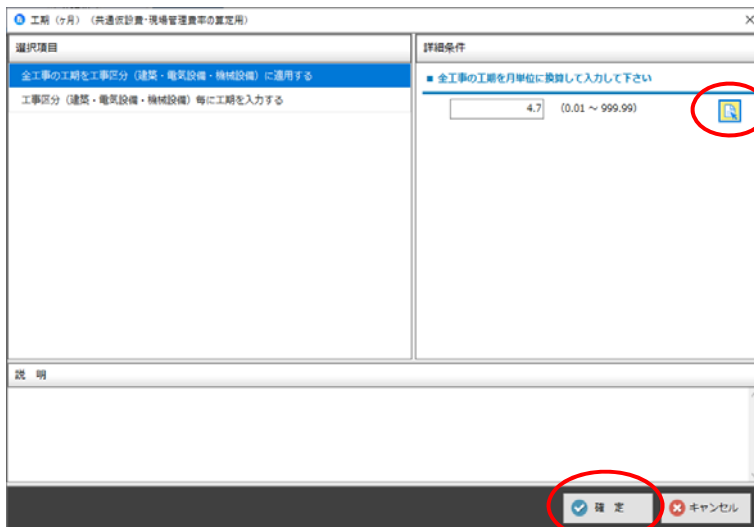
- ③ 別画面で未編集一覧が表示されます。ダブルクリックすると、工事内訳の該当箇所へ移動しますので、入力確認をお願いします。



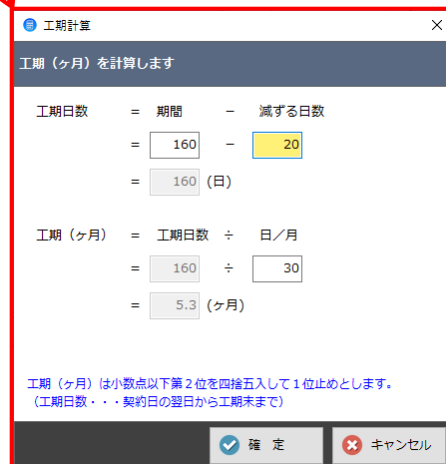
- ④ 全ての内訳データ入力完了後、共通費計算をクリックして下さい。共通費算定画面が表示されます。「集計・控除」画面が表示され、各項目が自動集計されます。
確認後、**次へ**をクリックして下さい。

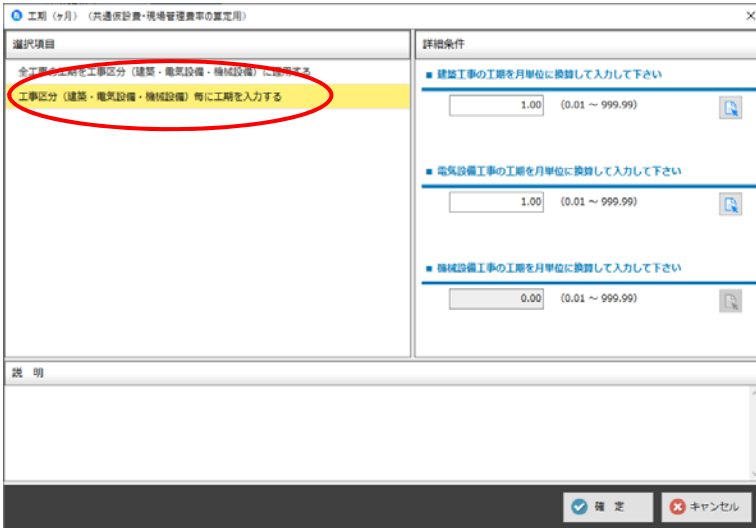


- ⑤ 「経費丸め」画面が表示されます。各項目の丸め内容を確認し（初期値は工事作成時に選択した発注者の設定値）、**次へ**をクリックして下さい。

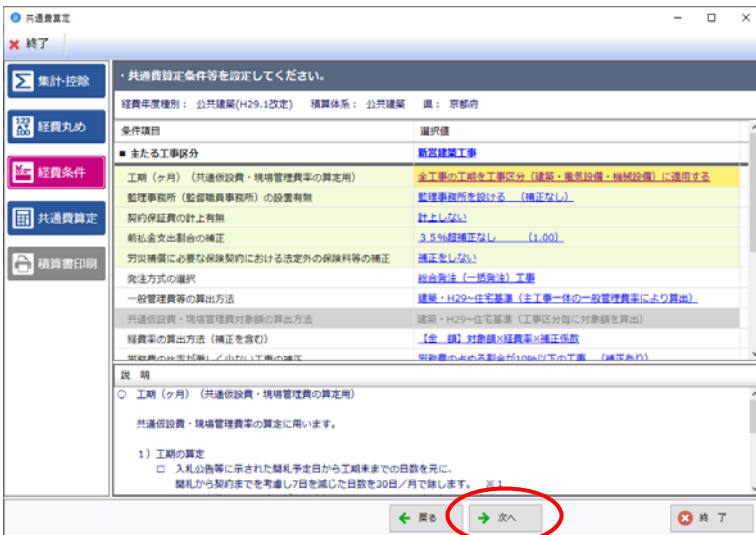


- ⑥ 工期設定画面が表示されます。工期計算画面より、日数入力で自動計算する事も可能です。
入力が完了しましたら確定をクリックして下さい。

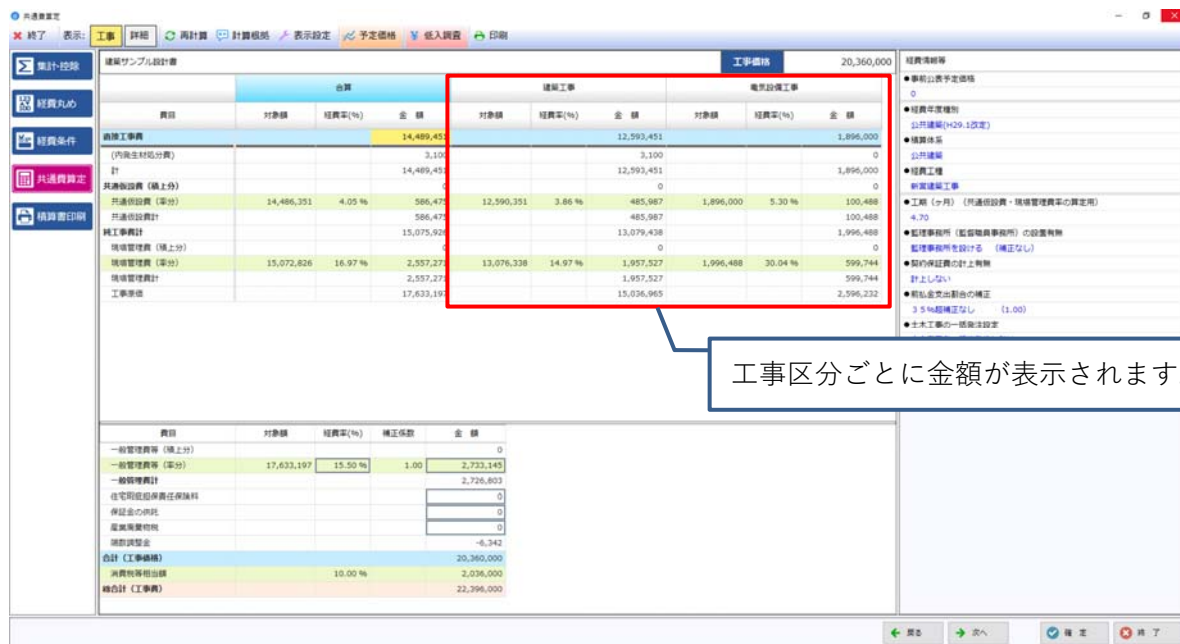




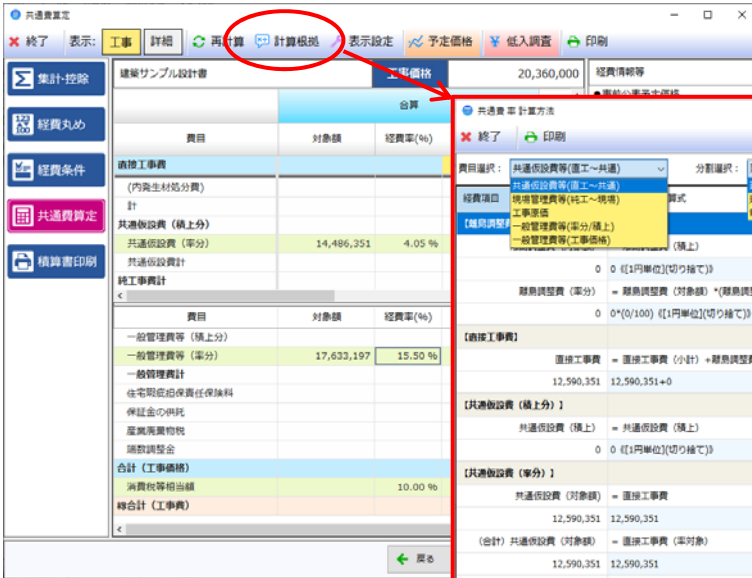
※ 工事区分が複数存在する場合は、工事区分ごとに工期設定も可能です。



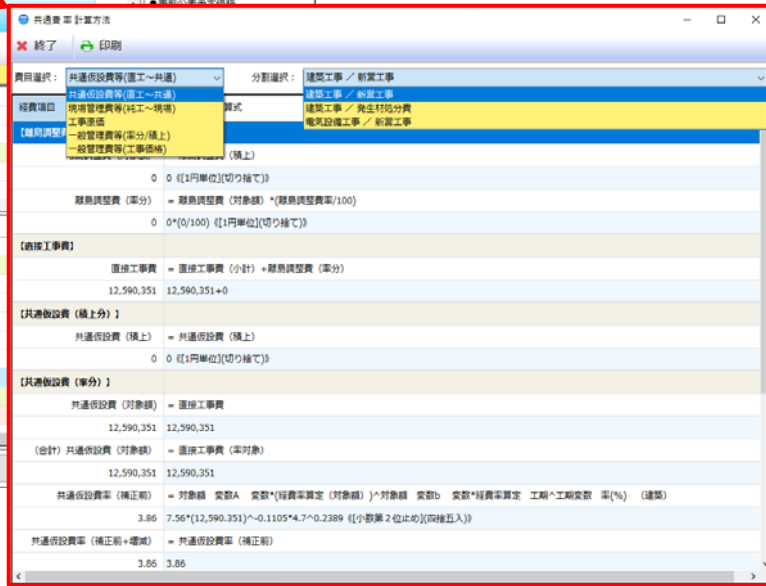
⑦ 「経費条件」画面が表示されます。
重要な入力項目となりますので、必ず設計書の条件を確認し、選択して下さい。
選択完了後、次へをクリックして下さい。



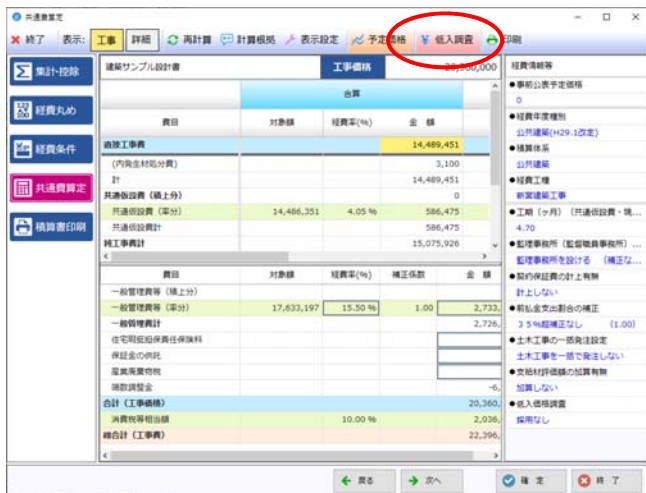
工事区分ごとに金額が表示されます。



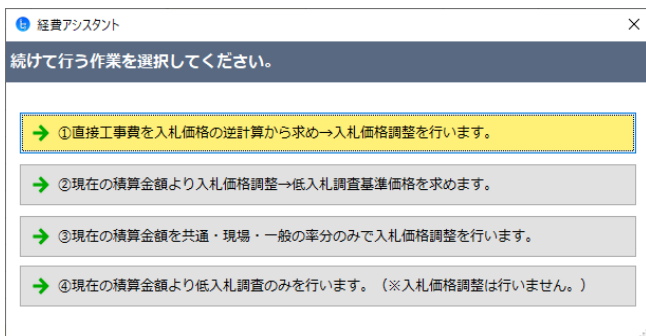
計算根拠より、詳細な計算内容が確認出来ます。



➤ 最低制限価格を適用し、価格調整を行いたい場合



1. 低入調査をクリックして下さい。

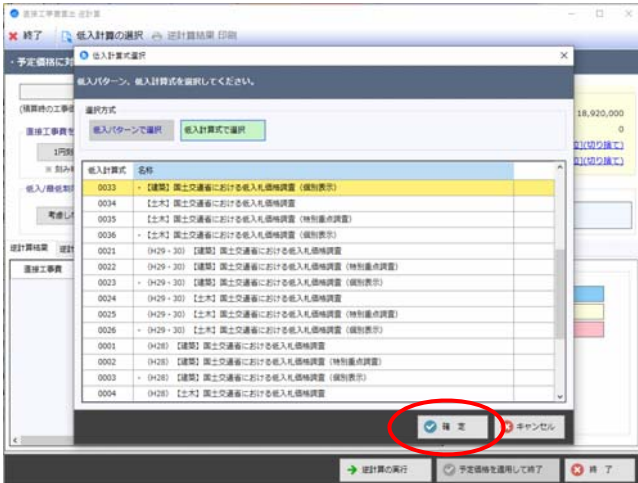


2. 調整を行う方法を選択して下さい。

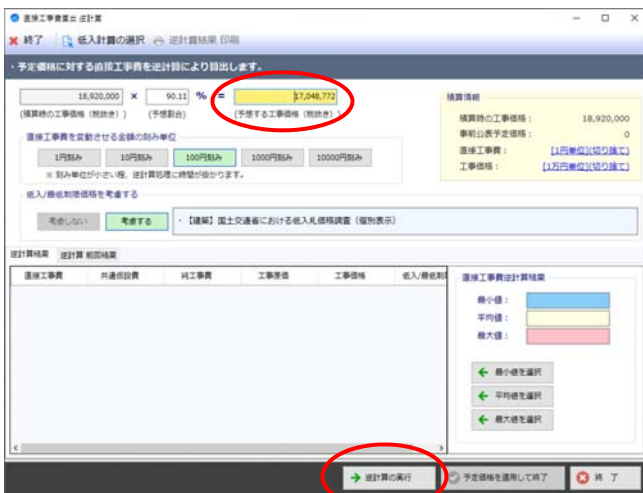
- ① 予定価格をまず算出し、その結果金額に対して低入計算式を実行し、低入札調査基準価格を求めます。
- ② 工事内訳で入力した結果を利用し、その結果金額に対して低入計算式を実行し、低入札調査基準価格を求めます。

ここでは①を選択した手順を説明します。

3. 該当する低入計算式を選択して下さい。



4. 予定価格の確認を行い（修正も可能）、逆計算の実行をクリックして下さい。



5. 算出された一覧より該当金額を選択し、予定価格を適用して終了をクリックして下さい。
（最小値、平均値、最大値の金額に色が付きます）



項目	積算金額	金額	割合	比率
直接工事費	14,489,451	13,016,991	89.838 %	
内発生材料費	3,100			
計	14,489,451			
共通費 (積上分)	0	0		
共通費 (率分)	466,460	420,348	90.114 %	
共通費計	466,460	420,348	90.114 %	
純工事費計	14,955,911	13,437,339	89.846 %	
現場管理費 (積上分)	0	0		
現場管理費 (率分)	1,411,545	1,288,343	91.272 %	
現場管理費計	1,411,545	1,288,343	91.272 %	
工事家賃	16,367,456	14,725,682	89.969 %	
一般管理費等 (積上分)	0	0		
一般管理費等 (率分)	2,554,959	2,319,294	90.776 %	
一般管理費等計	2,554,959	2,319,294	90.667 %	
住宅前払保証責任保険料	0	0		
保証金の押付	0	0		
監査費用等	0	0		
地割調整金	-2,415			
合計 (工事価格)	18,920,000	17,040,000	90.063 %	
消費税相当額	1,892,000	1,704,000	90.063 %	
總合計 (工事費)	20,812,000	18,744,000	90.063 %	

6. 選択した金額結果が画面に表示されます。
入札価格 調整機能へをクリックして下さい。

・予定価格/入札価格 (予想する価格) になるよう工事内訳 (積算金額) を調整します。

(積算額の直接工事費) × 92.77 % = (予想する直接工事費) 13,007,866

(積算額の工事価格 (総計額)) × 89.58 % = (予想する工事価格 (総計額)) 17,340,000

計算対象設定

1. 直接工事費のみで価格調整を行う
2. 全ての積上費目で価格調整を行う

計算対象	積算名称	金額	凡の方法	件数
<input checked="" type="checkbox"/>	費算なし	WD	11円単位未満の繰上	135
<input checked="" type="checkbox"/>	労務費	¥892,846	11円単位未満の繰上	132
<input checked="" type="checkbox"/>	主要材料	¥211,992	11円単位未満の繰上	90
<input type="checkbox"/>	仮設材料	WD		0
<input type="checkbox"/>	材料運搬	WD		0
<input checked="" type="checkbox"/>	機械材料/資材	¥143,157	11円単位未満の繰上	83
<input checked="" type="checkbox"/>	市場/標準単価	¥246,524	11円単位未満の繰上	38
<input type="checkbox"/>	経費 - その他	¥240,219		0

7. 設定した予定価格になるよう工事内訳を調整します。
完了しましたら、確定をクリックして下さい。

・予定価格/入札価格 (予想する価格) になるよう工事内訳 (積算金額) を調整します。

(積算額の直接工事費) × 100.00 % = (予想する直接工事費) 1,734,119

(積算額の工事価格 (総計額)) × 89.45 % = (予想する工事価格 (総計額)) 2,120,000

計算対象設定

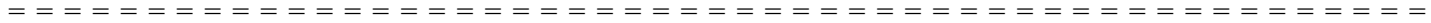
1. 直接工事費のみで価格調整を行う
2. 全ての積上費目で価格調整を行う

計算対象	積算名称	金額	凡の方法	件数
<input type="checkbox"/>	費算なし	WD	11円単位未満の繰上	135
<input type="checkbox"/>	労務費	¥892,846	11円単位未満の繰上	132
<input type="checkbox"/>	主要材料	¥211,992	11円単位未満の繰上	90
<input type="checkbox"/>	仮設材料	WD		0
<input type="checkbox"/>	材料運搬	WD		0
<input checked="" type="checkbox"/>	機械材料/資材	¥143,157	11円単位未満の繰上	83
<input checked="" type="checkbox"/>	市場/標準単価	¥246,524	11円単位未満の繰上	38
<input type="checkbox"/>	経費 - その他	¥240,219		0

※ 直接工事費金額はそのまま、率分のみで調整したい場合は、直接工事費割合を 100% に設定し、直接工事費、共通費の計算対象のチェックを全てはずして下さい。

積算金額	金額	割合	去額	割合	判定
14,489,451	12,926,791	100.00%	12,926,790	89.215%	
14,489,451	12,926,791	89.215%			
0	0		0		
586,475	526,273	100.106%	527,704	89.979%	
586,475	526,273	100.106%	527,704	89.979%	
15,075,926	11,455,064	100.004%	13,454,494	89.245%	
0	0		0		
2,957,271	2,353,481	100.106%	2,350,943	91.922%	
2,957,271	2,353,481	100.106%	2,350,943	91.922%	
17,633,197	15,808,545	100.02%	15,805,437	89.635%	
0	0		0		
2,733,145	2,475,131	100.00%	2,475,131	90.56%	
2,726,803	2,474,563	100.00%	2,474,563	90.75%	
0	0		0		
0	0		0		
0	0		0		
-6,342	0				
20,360,000	18,280,000	100.00%	18,280,000	89.784%	
2,036,000	1,828,000	100.00%	1,828,000	89.784%	
22,396,000	20,108,000	100.00%	20,108,000	89.784%	

8. 調査後の積算金額が反映されます。金額を確認し、入札価格を積算金額へ反映し終了をクリックして下さい。



積算	建設工事	電気設備工事
12,926,791	12,926,791	1,691,820
12,926,791	11,232,271	1,694,520
11,934,108	4,057,797	96,316
526,273	11,455,064	1,791,879
0	0	0
2,353,481	1,601,551	351,920
2,353,481	1,601,551	351,920
15,075,926	11,455,064	3,327,579

⑧ 引き続き、積算書印刷を行います。次へをクリックして下さい。

工事内訳画面に一度戻り、内容確認する場合は確定をクリックして下さい。
工事内訳画面の【積算書】より積算書印刷が可能です。

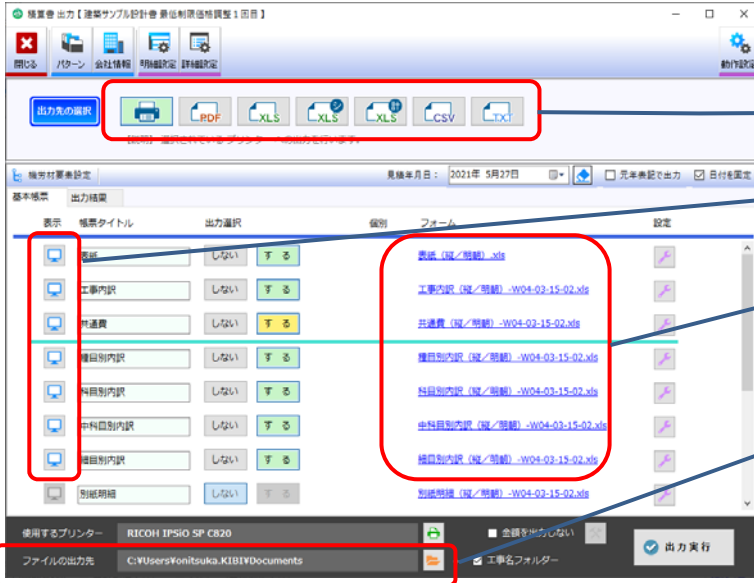
工事名称: 建築サンプル設計書
 管理 工事コード: 最低制限価格調整 1回目

入力範囲: 1~60文字

確定

⑨ 価格調整を行う前の工事データを保存しておく為に、調整後の工事を別工事として一度保存します。工事名等確認しやすい名称を入力し、確定をクリックして下さい。

7. 積算書印刷



◆ 「積算書印刷」画面

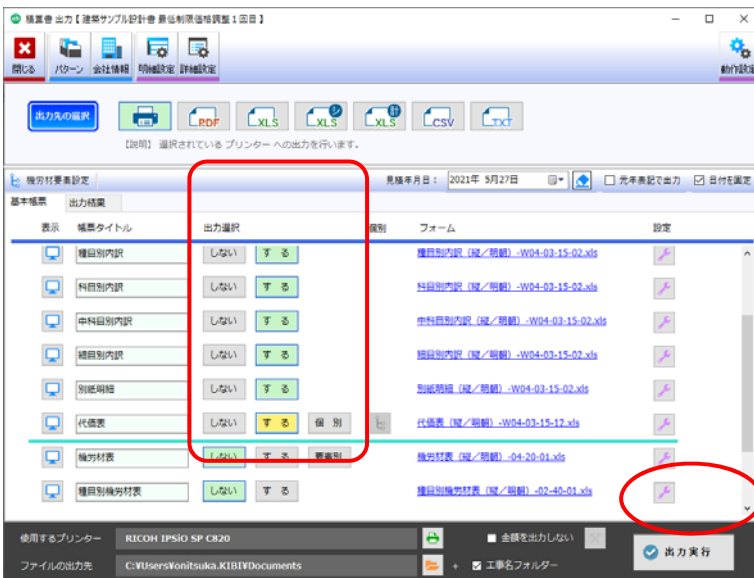
積算書出力のファイル形式を選択します。

プレビューでレイアウトを確認出来ます。

フォームを変更出来ます。文字部分をクリックして下さい。

ファイル出力する場合の出力先を表示（変更）します。

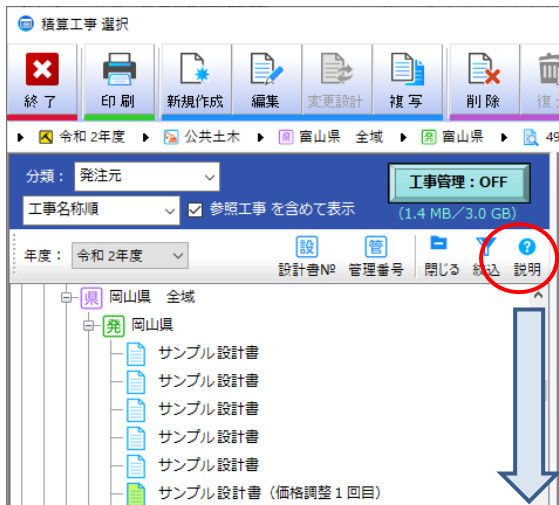
出力形式	アイコン	説明
プリンター印刷		プリンターに出力します。プリンターの設定が必要です。
PDF		各帳票毎にPDFファイルとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
XLS		帳票毎にExcelファイルとして出力します。帳票内の各ページは異なるシートとして出力されます。ファイルの出力先設定が必要です。 ※積算書出力画面右上の動作設定をクリックして表示される動作設定画面で、 帳票毎にXLS形式でファイル出力する機能を有効にする にチェックを付けている場合のみ選択肢として表示されます。
XLS1シート形式		帳票毎にExcelファイルとして出力します。帳票内の複数ページをまとめて1シートとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
CSV		各帳票毎にCSV（カンマ区切り）形式のファイルとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
テキストデータ		各帳票毎に旧システムの形式で出力します。ファイルの出力先設定が必要です。



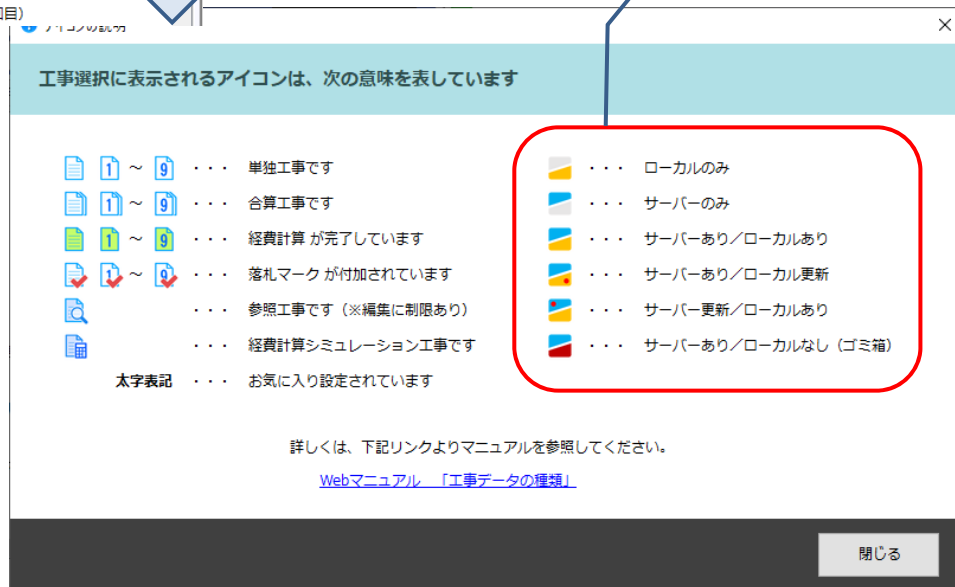
- ① 出力設定を行い、**出力実行**をクリックして下さい。出力形式で選択した形式で出力されます。

8. 工事選択画面説明

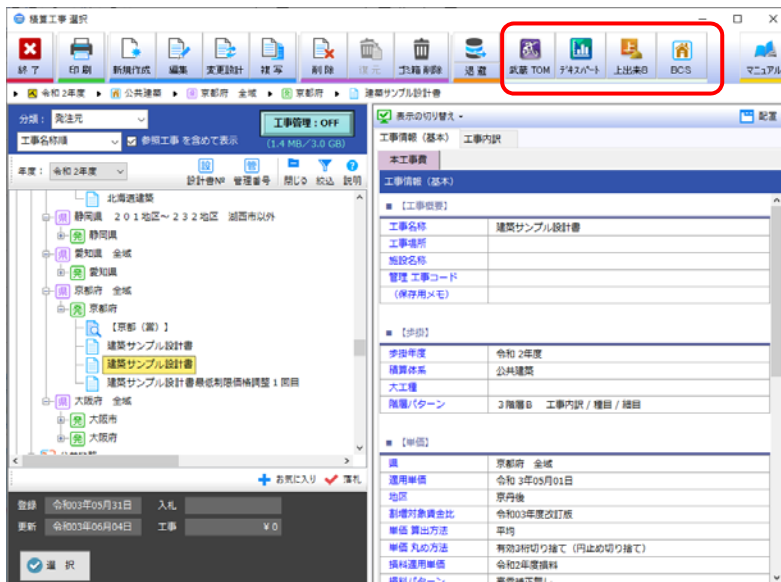
◆ 工事選択に表示されるアイコン説明



オプション「工事管理」システムをご利用のお客様への説明アイコンとなります。



◆ 「武蔵」や「デクスパート」等のシステムとのデータ連携方法



工事を選択し、連携出力したいシステムをクリックして下さい。

(該当工事右クリック内の一覧からでも選択出来ます)

◆ 工事を検索（絞り込む）方法

The screenshot shows the '積算工事 選択' (Construction Selection) window. A callout box points to the '絞り込' (Filter) icon in the toolbar, stating: 「絞り」アイコンより工事検索及び絞り込みが可能です。 (You can search for and filter construction projects from the 'Filter' icon.)

The '絞り込み条件' (Filter Conditions) dialog box is open, showing the following settings:

- 自分の工事のみ表示 (Display only my own work)
- 条件で絞り込む (Filter by conditions)
- Radio buttons: 個別（いずれか） (Individual (any)) and 個別（完全一致） (Individual (exact match))
- Checkboxes: お気に入り (Favorites), 経費計算完了 (Cost calculation completed), 合算工事 (Consolidated work), 落札 (Bidding)
- 工事名で絞り込む (Filter by work name)
- Text input field: サンプル工事 (Sample work)
- Buttons: 適用 (Apply) and キャンセル (Cancel)

The main window displays a tree view of construction projects for '令和2年度' (Reiwa 2nd year), including categories like '公共土木' (Public Civil Engineering) and '公共建築' (Public Building).